

事務事業及び予算の執行実績

(令和4年度分「一部、令和5年度分を含む」)

静岡県立袋井特別支援学校

目 次

1	事務事業の概要 (□□□□□□)	1
2	事務執行の根拠法令調 (□□□□□□□□)	25
3	学校施設の概要 (□□□□□□)	26
4	在籍生徒調 (□□□□□□)	28
5	入学志願者及び入学者数調 (□□□□□□)	30
6	卒業生の動向調 (□□□□□□□□)	31
7	生徒の状況 (□□□□□□)	32
8	特別支援学校における生産物売払調 (□□□□□□)	35
9	歳入予算執行状況調 (□□□□□□)	38
10	現金出納調 (□□□□□□)	42
11	預金調 (□□□□□□□□)	43
12	郵便類受払調 (□□□□□□□□)	44
13	材料品受払簿 (□□□□□□□□)	45
14	歳入歳出外現金調 (□□□□□□)	46
15	歳出予算執行状況調 (□□□□□□)	47
16	委託料等歳出予算執行状況節別集計表 (□□□□□□□□)	53
17	委託料等歳出予算執行状況節別集計表 (□□□□□□□□)	53
18	委託料に関する調 (□□□□□□□□)	54
19	負担金支出調 (□□□□□□□□)	64
20	建築工事調 (□□□□□□□□)	66
21	公有財産調 (□□□□□□□□)	70
22	借地借家等調 (□□□□□□□□)	71
23	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調 (□□□□□□□□)	72
24	行政財産貸付・使用許可調 (□□□□□□□□)	74
25	備品・図書調 (□□□□□□□□)	75
26	主要備品調 (□□□□□□□□□□)	79
27	生産物受払調 (□□□□□□□□)	80

□□□□□□

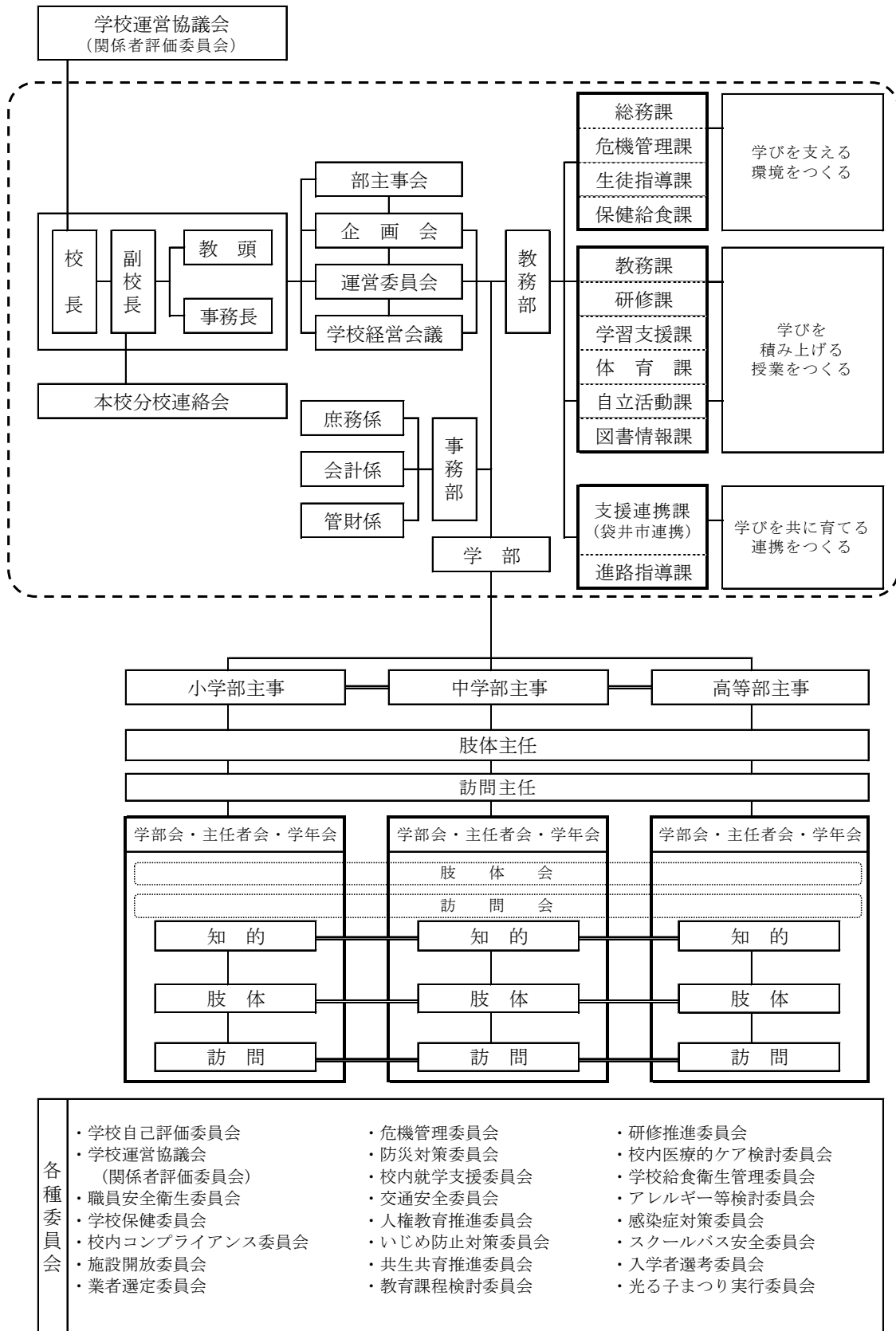
事務事業の概要(本校)

1 概況

(1) 学校の沿革

- 平成 元. 4. 1 袋井地区新設養護学校設立準備委員長他2人発令、新設学校準備開始
元. 6. 30 学校敷地の造成工事竣工
元. 12. 23 静岡県議会11月定例会において、静岡県立袋井養護学校の設置が決定
2. 1. 10 開校準備協力委員4人発令
2. 2. 1 設立準備委員(事務)1人発令
2. 3. 16 高等部棟校舎建築工事竣工(RC2F 1,583.30 m²)
2. 4. 1 静岡県立袋井養護学校開校
静岡県立静岡北養護学校東遠分教室を本校に移管
2. 4. 6 開校式、第1回小中学部入学式挙行
2. 7. 31 管理棟校舎建築工事竣工(RC2F 2,112.18 m²)
2. 8. 31 小中学部棟校舎建築工事竣工(RC3F 4,054.43 m²)
2. 9. 28 バスターミナル工事竣工
3. 1. 8 体育館建築工事竣工(S1F 500.00 m²)・運動場造成工事竣工
3. 3. 15 プール建築工事竣工
3. 4. 1 高等部設置
3. 4. 6 第1回高等部入学式挙行
3. 11. 15 校舎落成記念式典挙行
5. 3. 23 高等部棟昇降機設置工事竣工(RC2F 27.56 m²)
8. 4. 1 高等部に肢体重複学級開設
10. 4. 1 高等部訪問教育開設
11. 11. 20 10周年記念のつどい挙行
12. 1. 31 管理棟校舎(厨房)増築工事竣工(RC1F 14.25 m²)
16. 4. 1 高等部知的重複学級開設
17. 6. 30 仮設校舎建築工事竣工(S2F 456.98 m²)
18. 4. 1 静岡県立池新田高等学校内に御前崎分校開校
20. 4. 1 静岡県立袋井特別支援学校に校名変更
21. 12. 21 20周年記念式典挙行
22. 4. 1 静岡県立磐田北高等学校内に磐田見付分校開校
26. 4. 1 校内に掛川特別支援学校準備委員会を設置
27. 4. 1 袋井特別支援学校の一部を分離して、静岡県立掛川特別支援学校開校
御前崎分校を掛川特別支援学校に移管、東遠分教室閉鎖
令和 2. 11. 1 30周年記念誌発行

(2) 組織図



- 各種委員会**
- 学校自己評価委員会
 - 学校運営協議会 (関係者評価委員会)
 - 職員安全衛生委員会
 - 学校保健委員会
 - 校内コンプライアンス委員会
 - 施設開放委員会
 - 業者選定委員会
 - 危機管理委員会
 - 防災対策委員会
 - 校内就学支援委員会
 - 交通安全委員会
 - 人権教育推進委員会
 - いじめ防止対策委員会
 - 共生共有推進委員会
 - 教育課程検討委員会
 - 研修推進委員会
 - 校内医療的ケア検討委員会
 - 学校給食衛生管理委員会
 - アレルギー等検討委員会
 - 感染症対策委員会
 - スクールバス安全委員会
 - 入学者選考委員会
 - 光る子まつり実行委員会

2 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子を育てる ～自分のよさを磨いて豊かに生きる～

(2) 目指す学校像

- ア 安心して生活、学習できる学校
- イ 自分の力を精いっぱい発揮できる学校
- ウ 保護者、地域と共に歩む学校

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題

- ア 学びを支える環境をつくる 【安全・安心】
- イ 学びを積み上げる授業をつくる 【子ども主体の授業】
- ウ 学びを共に育てる連携をつくる 【連携】

・教育活動を支える基本的な考え方

I C Tの活用 … 業務の効率化、授業の充実等を図るための方法として積極的に活用する。

業務改善 … マニュアル等の資料や教材の共有、システムの構築等を行うことで、効率的な業務ができる環境を整備する。減らせることと必要なことの見極めをする。

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況 (教職員評価A・B の%を記載)	評価	成果と課題
安心・安全	未然防止の行動力と有事への対応力	・マニュアルを確認し危機管理に生かした教員 100%	・92%	A	・災害発生時に最低限の行動を示したアクションカード作成と掲示は効果的であった。次年度は、アクションカードを活用し、有事の際に教職員が自分の役割が分かって行動できるような訓練を行う。 ・今後は、実際に即した訓練を計画実施していく。
		・各種の訓練時や有事の際に初動対応ができた。	・96%		
		・国評価レベルで示された教育活動の実施方法を、学年会 ・グループ会で確認し、実施できた教員 100%	・確認した教職員 90% ・実施した教職員 88%	B	・確認方法を固定したことで、決定事項の伝達がスムーズになった。 ・校内掲示板を使い分かりやすい情報提供を行った。今後は、授業等へ反映しやすくなるような工夫を考えていく。
		・マニュアルに沿った医療的ケアの実施と緊急時の対応ができた教員・看護師 100% ・自分の学部・学年の医療的ケア児のケア項目を知っている教員 70%	・94% (看護師を含む) ・70%	A	・適宜マニュアルを確認しながら、医療的ケアの実施ができた。 ・全教職員へより分かりやすく伝えるための研修を工夫する。
		・学部内のヒヤリハットの類似事案発生 0 件重大事故発生 0 件	・96%	A	・ヒヤリハット事案の総件数は 67 事案 (2月17日現在)。原因・改善策を共有し、未然防止のための呼び掛けを行うことで、皆で確認をし、改善ができた。ヒヤリハットの多い時期や内容

		<ul style="list-style-type: none"> 安全点検等の機会を通して管理責任場所や教室環境の危険な点に気付き、自ら改善したり、報告したりして安全な学習環境の整備を実践できた教員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 96% 		<ul style="list-style-type: none"> などについて月初め等に呼び掛けていく。 安全点検簿を使った点検業務を継続する。突発的な故障や破損について報告や相談を呼び掛けていく。物の定期的な整理の機会を作る。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 課題を見据えた予算計画を策定し、効果的に予算執行ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 83% (事務職員) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 光熱費等高騰のため、見通しが難しかった部分がある。今後も計画的な予算策定と執行を行う。 	
子ども主体の授業	自他を尊重し合う人権感覚 (同僚性) 高い集団の形成	<ul style="list-style-type: none"> あいさつと感謝の言葉を積極的に掛け合うこと (いつでも、どこでも、だれにでも) ができた教員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 100% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後も子供たちの手本となるような挨拶を教職員一人一人が心掛けていく。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 気軽に相談できる教員がいると答えた教員 100% (経験年数6年未満対象) 経験年数の浅い教員を育てるために必要なことを、自ら伝えようとした教員 80% (上記以外) 	<ul style="list-style-type: none"> 94% 86% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 袋特版OJTを推進したことにより、相談体制は整ってきている。 OJTでペアを組んだ教職員は必要な助言をしたと答えている。ペアだけでなく、誰にでもいつでも必要だと思うことを伝え合う風土の醸成を図る。 	
	専門性 (授業力) の向上	個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づく教育活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態を、自立活動6区分27項目を活用して整理し、指導目標を設定することができた教員 75% 定期的に指導内容や手立てを見直しながら実践していくことで、指導目標を達成することができた教員 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 89% 95% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の自立活動学習会が効果的であった。今後も的確な目標設定や実践に結び付けることができるよう学習会を継続する。 定期的な呼び掛けにより、指導内容や児童のあらわれ・手立てについて話し合い、見直しをすることができた。今後も継続する。
			<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の意欲や思考の流れを考えて、学習グループごとの話し合いをし、授業実践を行った教員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 95% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業設計や振り返りのための記録様式を学習グループごとに使用することで児童生徒の思考の流れを想像しやすくなった。話し合いの視点も明確になり、よりよい授業実践や授業改善への意識が高まった。
		教科別等指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 指導カードや教材教具を参考にして、実態から適切な目標を立て授業を行った教員 100% 各教科等の年間指導計画や指導カードに道徳科の内容項目を記載し、実践できた教員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 88% 69% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 指導カード等を共有するフォルダは作成したが、具体的な使用方法までは示せなかった。フォルダ内の項目等を今後検討する。 来年度の年間指導計画に道徳の内容項目を記載し実践する。

	<p>体育・自立活動の充実</p> <p>る授業実践 12年間を積み上げ</p>	<p><知的G対象> ・年間指導計画に基礎体力に関する観点を記載し、実践した教員 100%</p> <p><肢体G対象> ・自立活動の年間指導計画(体操、集団学習等)で『健康の保持』『身体の動き』の10項目を記載し、実践した教員 100%</p>	<p>・79%</p> <p>・86%</p>	B	<p>・来年度は基礎体力の観点を整理し、より効果的な指導ができるように単元カードに記載する。</p> <p>・外部講師の理学療法士等を活用し、理解が進んだ。学習指導要領で示されている区分や項目を理解して、授業を行っていく。</p>
		<p>・各全体計画に示した当該学年の内容を学年グループの年間指導計画に位置付け実践した学年グループ 100%</p> <p>防災教育⇒防 性に関する指導⇒性 進路学習⇒進 道徳教育⇒道</p>	<p>・(実践した教職員)防 71% 性 55% 進 40% 道 60%</p>		<p>・来年度は、各全体計画をそれぞれの学年等の年間指導計画に位置付け、12年間を考慮した学習活動を行う。全体計画の活用方法(おさえ、活用のタイミング、見方等)を示したガイドを作成し、授業実践に結び付けていく。</p>
連携	【校外】 共生社会の実現に向けたコミュニケーションスクールへ移行と地域への情報発信	<p>・本校における交流及び共同学習の実践を知り、地域で生活するために必要な力を考えた教員 100%</p>	<p>・84%</p>	B	<p>・交流籍校交流の取組を年度始めに周知したことで児童生徒の地域参加を考えることができた。今後も共生共育を推進し、教職員、保護者、交流相手校が交流及び共同学習の目的をより一層理解できるよう働きかける。</p>
		<p>・学校訪問、本校見学を実施後、校内で情報共有した袋井市教員 100%</p> <p>・学校訪問で、学級担任と学校全体へ助言ができた本校コンサルタント 50%</p> <p>・学校運営協議会の活動を知っている教員 100%</p>	<p>・袋井市教員 100%</p> <p>・100%</p> <p>・76%</p>	B	<p>・今後は情報共有に留まらないよう、得た情報を活用できる取組や報告を行う。(袋井市教員)</p> <p>・定期訪問時に相手校コーディネーターへの助言ができた。来年度も継続する。</p> <p>・5月に制度についての説明会を実施し、掲示物や便りを出して周知したが、一部の直接交流や作品交流のみであった。来年度は活動計画を立て、共同活動を行っていく。</p>
		<p>・オンライン活用やホームページ等の情報発信の毎月更新実施率 100%</p> <p>・子育て、教育相談、就労などの情報を保護者面談で活用した教員 100%</p>	<p>・毎月一回以上更新 87%</p> <p>・74%</p>	B	<p>・各学年・グループ等で更新率に差があったが、教職員の意識は高まった。</p> <p>・保護者面談や連絡ノートなどから保護者が困っていることや知りたいことの把握ができた。今後は必要な情報を適時に提供できるよう校内体制(係分担等)を整える。</p>
	【校内】 学部や分掌の連携 決への取り組み	<p>・学校全体の課題を把握し、学校運営に参画した学年主任、分掌課長 100%</p>	<p>・84%</p>	B	<p>・合同主任者会や分掌課長会を年4回実施し、それぞれの役割を確認したり、グループワークを行ったりした。学年経営等のアドバイスを受けることができ、有益であった。</p>

(2) 令和5年度の取組目標・達成方法・成果目標

- | | |
|------------------|------------|
| ア 学びを支える環境をつくる | 【安全・安心】 |
| イ 学びを積み上げる授業をつくる | 【子ども主体の授業】 |
| ウ 学びを共に育てる連携をつくる | 【連携】 |

・教育活動を支える基本的な考え方

ICTの活用 … 業務の効率化、授業の充実

業務改善 … 資料や教材の共有、システムの構築等を行い、環境を整備する。

例：周知の方法、環境整備、データ化、共有

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法（取組手段）	達成目標	担当部署
安全・安心	未然防止の行動力と有事への対応力	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的、実践的な訓練や研修の計画と実施 ・アクションカード（簡易マニュアル）の活用 ・「生活安全」「交通安全」「災害安全」の視点での学校安全管理体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練時や有事の際の役割や対応方法がわかり、対応することができた。 ・学校管理下での重大事故件数0件 	危機管理課 生徒指導課 保健給食課
		<ul style="list-style-type: none"> ・有事における医療的ケア児の安全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアにおける緊急時や災害時の対応ができる、災害用備品の保管場所や使用方法が分かる 該当教員 80% 	保健給食課
安心	安全な学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境整備への意識向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理責任場所の安全点検等の機会を通して安全な学習環境の整備を実践できた教員 100% 	総務課
		<ul style="list-style-type: none"> ・目的に基づいた予算の策定と課題解決のための、時節を捉えた柔軟な予算執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を見据えた予算計画を策定し、効果的に予算執行できた。 	事務部
子ども主体の授業	深い学びを実現するための授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・班別研修の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の言動から解釈を話し合うことで児童生徒の思考の流れに沿う授業実践ができた教員 100% 	研修課
	12年間で積み上げる授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・12年間の全体計画を活用した授業実践（性の指導、進路学習、道徳、防災教育） 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画を活用して、学年学部に応じた授業づくりや実践をすることができた。 ・年間指導計画や学年経営案を定期的に振り返り、全体計画に基づく学年・グループの方針を反映させながら、授業実践した教員 100% 	体育課 進路指導課 生徒指導課 危機管理課 教務課 各学部

	<p>学び続ける教職員集団の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアステージ研修の推進 ・袋特版OJT推進 ・話しやすい風土の醸成 ・教職員の人権感覚の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談できる教員がいると答えた教員 100% (基礎・向上期) ・経験年数の浅い教員を育てるために、必要なことを自ら伝えようとした教員 100% (充実・発展期、深化・熟練期) ・多様な考えを認め、対話する中で自分の考えが深まったと感じる教職員 100% 	<p>学習支援課</p> <p>学部主事 管理職</p>	
連 携	<p>【校外】 共生社会の実現に向けた地域社会や保護者と連携した取り組みと情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にした交流及び共同学習の実施 (学校間交流、交流籍交流) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校における交流及び共同学習の実践を知り、地域に参加していくためのきっかけとなる活動について考えた教員 100% 	支援連携課
		<ul style="list-style-type: none"> ・袋井市と本校双方向からの支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問や本校見学を実施後、特別支援教育についての知識を深めたり課題解決の機会としたりすることができた袋井市教員 100% ・学校訪問を通して管理職または特別支援教育コーディネーターに対して助言をすることができた教員 100% (コンサルタント対象) ・学校案内で本校の特別支援教育について説明ができた教員 100% (学年主任) 	支援連携課 管理職
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会とつながり合う授業や教育活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会制度を活用した交流活動を教科等の年間指導計画に入れ、年一回以上実践した学年グループ 100% 	支援連携課 各学部
	<p>【校内】 学部や分掌間の連携による教育課題解決への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動等の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部、グループ等において、児童生徒の教育活動を月に1度以上ホームページで発信する。 ・年間の作品展スケジュールにある作品展のうち、1回以上作品を出展することができた学年グループ等 90% 	<p>図書情報課</p> <p>学習支援課 支援連携課 (作品展の開拓)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報提供 (実態や年齢に応じた対応、進路指導等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・実態や年齢に応じた対応 (性の指導を含む) や進路指導を保護者面談等で情報提供できた教員 100% 	<p>体育課 進路指導課 自立活動課 学年主任</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・合同学年主任会、分掌課長会の実施 ・学年主任や分掌課長の業務内容等の研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体の中で果たす役割が分かり、他学年主任や他分掌課長と連携をとって運営した学年主任、分掌課長 100% 	<p>副校長、教頭 学部主事 学年主任 分掌課長</p>	

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和4年度	<p>(1) 未然防止の行動力と有事への対応力</p> <p>(2) 自他を尊重し合う人権感覚（同僚性）の高い集団の形成</p> <p>(3) 12年間で積み上げる授業実践</p>	<p>危機管理マニュアルの中から、主に地震災害発生時に最低限の行動を示したアクションカードを作成した。教室へ掲示をしたり、教職員へ配布をしたりした。常に目に入ることで日々確認することができ、大規模校の教職員全体へ周知することができた。教職員の初動体制への不安は減り、災害時の自分の動きの大切さを伝えることができた。防災訓練においても、初動対応を取ることができたかどうかを検証するとともに、アクションカードに基づいての初動対応が取れるようになってきた。大規模校であるため、教職員全体への周知徹底、共通理解についての課題はあるが、最低限の動きをもとに有事の際に教職員が自ら動けるようにしていきたい。</p> <p>昨今、気象問題をはじめ、様々な安全面での危機管理が必要である。危機管理マニュアルを「生活安全」「交通安全」「災害安全」の視点から危機管理マニュアルの見直しをしていく必要がある。</p> <p>月初めの学部会や学年会で教職員の月ごとの人権目標（スマイル目標）を共通理解したり、年3回教職員人権チェックシートの確認を実施するとともに、振り返りを行った。校長講話や、教頭が各学部会で講話や演習を定期的実施するなど管理職からも意図的・定期的に研修を行うことで教職員全体の教育公務員としての使命感や倫理観、人権感覚は高まっている。人権感覚の高い教職員の集団を目指したい。</p> <p>令和3年度に作成した袋特版OJTを推進した。気軽に相談でき、年齢や経験の差を超えた相談体制の充実を図り、校内でのより良い人間関係を構築することができた。本校は経験が浅い教職員が全体の6割を占めている。気軽に教職員同士が相談でき、経験年齢の浅い教職員を育て、自らも成長できる教職員が多数いることが望まれるが、相談体制の充実には、時間設定や双方向の関係など課題が残る。話しやすい風土の醸成をしていきたい。</p> <p>日常生活の指導、防災教育、性教育において小学部・中学部・高等部12年間に身につけたい力を示した全体計画を活用し、授業実践を行った。学部学年の年間指導計画への反映や、教職員への周知が徹底できずに、満足いく授業実践までには至らなかった。12年間に身につけたい力や全体</p>

	(4) 学校運営協議会制度導入	<p>計画の見直しや周知が必要であるとの方向を見いだせた。</p> <p>制度の導入により、地域に対して本校の知名度の低さが判明した。令和4年度は、本校を知ってもらうことを目標に、今すぐできる美術作品や作業製品展示などから取り組んだ。今後は、児童生徒が地域への活動に参加し一緒に活動したりすることなどを通して、本校を理解してくれる地域住民や関係者を増やしていきたい。</p>
令和5年度	<p>(1) 未然防止の行動力と有事への対応力</p> <p>(2) 12年間を積み上げる授業実践</p> <p>(3) 学び続ける教職員集団の構築</p>	<p>令和4年度に作成した地震発生時の最低限の行動を示したアクションカードを引き続き使用し、初動体制が取れるようにする。地震発生時の想定以外にも、様々な実践的な訓練を行う。「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つの視点から危機管理課、生徒指導課、保健給食課が協力し、学校の安全管理体制の整備を進めていく。危機管理マニュアルについて、上記3つの視点から再確認をする。特に気象災害については、学校地域や通学地域などの特徴を考えながら見直しを図り、有事に対応できるように改善していく。</p> <p>令和4年度に性の指導、進路学習、道徳教育、防災教育について、3学部12年間の全体計画の見直しを図り周知をした。そして、今年度は、各学部学年の年間指導計画に位置付けている。計画に基づいた授業実践を行っていき、児童生徒が12年間を通しそれぞれの力がつくようにしていく。</p> <p>3年目となる袋特版OJTの推進を図っている。相談体制では、基礎・発展期の教員と充実・発展期の教員がペアで話をする時間を計画的に作り、対話をする中で互いの考えが深まるようにしている。</p> <p>キャリアステージ研修では、今の自分につけた力を考えた。教員が周りとの対話や研修等を通して多くの力がつき、自分のキャリアとして誇れることを期待している。</p>

【令和5年度】

ア 健康管理の推進

- (ア) 生活習慣病健診、指定年齢健診、人間ドック等の完全実施を図り、再検査等の事後措置を徹底させている。また、情報機器作業従事者健康診断については、全員に作業区分調査を行い一次健診対象者を抽出し、紙面による調査を実施した。
- (イ) 職員安全衛生委員会を毎月開催し、教職員の心身の健康状況について共通理解を図りながら、委員会として必要な対策について協議している。
- (ウ) 感染症予防のため、換気、手洗いの励行、健康観察などを呼び掛ける。

イ 腰痛予防対策について

- (ア) 積極的に腰痛予防に努めるよう、全職員に呼びかける。
- (イ) 木曜日の始業時に2分間の腰痛予防体操を全職員で実施し、腰痛予防に努める。

ウ ストレス、メンタルヘルス関連について

- (ア) 新任教職員が抱えている悩みを知るため、年度初めにアンケート調査を行い、職員安全衛生委員会で問題解決の方法を話し合った。
- (イ) 毎週水曜日を定時退勤日と定め、17時30分完全施錠、通常の日には20時施錠を実践している。
- (ウ) 働き方改革を念頭に置きながら、教職員の業務や年間指導計画等の見直しを行い、時間外勤務の削減を図ることができるように取り組んでいる。
- (エ) 公立学校共済組合の職場の健康づくり支援事業を活用して時間管理の整理術を学び、業務改善につなげる。

(4) 教職員の研修について

ア 校内研修

【令和4年度】

目的・研修内容	成果
<p>学校目標である「自ら光る子を育てる～自分のよさを磨いて豊かに生きる～」に向かう児童生徒を育てるため、研修テーマを「児童生徒の思考の流れに沿う学習過程を大切にしたい授業づくり」とした。</p> <p>研修内容として、全体研修を年2回行い、研修テーマの意図や成果を共通理解した。また、1班(肢体教育A課程・訪問教育)、2班(小学部知的・肢体B課程)、3班(中学部知的・肢体)、4班(高等部知的・肢体B課程)に分かれ、学校目標に迫るため、年10回の班別研修を通して実践を積み重ねた。</p> <p>令和4年度は、公開授業研究会を含め、各研修班2回の授業研究会に取り組む。その際、各研修班の中で同僚性を高め合えるように、1回目は経験が豊富な教員が手本となる授業研究会を行い、それを手本に若手の教員が2回目の授業研究会を行った。</p> <p>以上の内容で授業力を高め、学校目標に迫る児童生徒を育てた。</p>	<p>思考の流れに沿う学習過程を大切にしたい授業づくりを実践することで、学校目標に向かう児童生徒を育てることができると理解しつつある。</p> <p>また、各研修班で目指す姿を具体的に示し、方法を具体化して取り組んだ。</p> <p>1班は、自分らしく「人」「物」「社会」に関わり豊かに生きる子を育てるために、事例児童生徒を挙げ、児童生徒の変容について仮説を建て検証を実施した。</p> <p>2班は、自ら進んで活動する子を育てるために、事例児童の変容を見取り、評価することで、次単元や目標に生かした。</p> <p>3班は、「任せて」と自信を持って活動する子を育てるために、事例生徒を2名取り上げ生徒の思考に沿う教材教具の工夫に取り組んだ。</p> <p>4班は、自らを磨き「自己実現」を図る子を育てるために、事例生徒を取り上げ、より良い製品を作るために工程分析を生徒と一緒にやり改善に取り組んだ。</p>

目的・研修内容	成果
<p>課題</p> <p>児童生徒の思考を想像しながら授業計画を立てることで、児童生徒が主体的に学習に取り組み、育成したい資質・能力に迫る授業づくりができることが分かった。ただ、児童生徒の思考とはどのようなものなのか、本当に児童生徒の思考の流れに沿っていたのかなど、不安が残る教員もいた。令和5年度も児童生徒の思考に沿う学習過程を大切にしながら、各研修班で事例児童生徒を挙げる。同児童生徒がどのように学んでいるのか、実際の言動を基に検証をしていく。複数の教員の目で、児童生徒の言動の理由を考えることで、児童生徒の思考の流れを理解し、授業改善をすることができると思う。そうすることで、教師が児童生徒の思考を想像する力が向上したり、細かなあらわれにも注目し、変容を見取る力が向上したりすることができ、「自ら光る子」を育てることができると思う。</p>	

【令和5年度】

目的・研修内容	成果
<p>学校目標である「自ら光る子を育てる～自分のよさを磨いて豊かに生きる～」に向かう児童生徒を育てるため、研修テーマを「思考の流れに沿う学習過程を大切にした授業づくり」とした。</p> <p>研修方法として、全体研修を年2回行い、研修テーマの意図や成果を共通理解する。また、1班(肢体教育A課程・訪問教育)、2班(小学部知的・肢体B課程)、3班(中学部知的・肢体)、4班(高等部知的・肢体B課程)に分かれ、学校目標に向かうため、年10回の班別研修を通して実践を積み重ねていく。</p> <p>研修内容として、全体で二つのテーマを設けた。一つ目は、「各研修班で自立活動6区分や育成を目指す資質・能力の3つの柱を参考に具体的な目標を立てる」こと。二つ目は、「実際の言動から、児童生徒の思考を教員同士で話し合う」こと。</p> <p>今年度も、公開授業研究会を含め、各研修班2回の授業研究会に取り組む。その際、各研修班の中で教員同士が同僚性を高め合えるように、1回目は経験が豊富な教員が手本となる授業研究会を行い、それを手本に若手の教員が2回目の授業研究会を行う。また、8月には、発達障害の当事者である綿貫愛子氏に講演を依頼し、問題行動と言われる言動の理由について、その時の環境や気持ちなどを交えて講演していただく。</p> <p>以上の内容で児童生徒の思考を読み取る力を高め、授業実践及び改善していくことで学校目標に向かう児童生徒を育てたい。</p>	<p>教員の話し合い活動を通して、児童生徒の思考の流れをより理解することで、思考の流れを大切にした授業づくりを実践することができ、学校目標に向かう児童生徒を育てることができると理解しつつある。</p> <p>また、各研修班で目指す姿を具体的に示し、方法を具体化して取り組んでいる。</p> <p>1班は、気付く、分かる、行動する子を育てるために、児童生徒の思考を引き出す授業づくりに取り組む。具体的には、一人ひとりのあらわれを見取り、児童生徒の思考の解釈を検証していく。</p> <p>2班は、自ら進んで活動する子を育てるために、児童が進んで活動する姿を引き出す生活単元学習の授業づくりに取り組む。具体的には、事例児のあらわれからの思考を教員の話し合いによって議論・解釈し、授業改善に取り組んでいく。</p> <p>3班は、「任せて」と自信を持って活動する子を育てるために、生徒の思考の流れに沿った授業づくりに取り組む。具体的には、事例生徒を2名取り上げ、生徒が思考や気持ちを動かすための導入の工夫に取り組む。</p> <p>4班は、自らを磨き「自己実現」を図る子を育てるため、やりがいを見出すための授業づくりに取り組む。具体的には、事例生徒を取り上げ、生徒がより目的を持って授業に取り組むための授業実践やさらにやりがいを引き出すための授業改善を生徒と一緒に取り組む。</p>

6 防災対策について

危機管理体制の大幅な見直しを進めるとともに、防犯意識の向上に努めた。
 年度別防災訓練実施（計画）状況

年 度	月 日	内 容
令和4年度	4月4日	危機管理マニュアル研修
	4月7日	第1回職員初動訓練
	4月中旬	学校連絡・情報共有サービスの登録依頼、配信訓練
	4月22日	第1回避難訓練（地震）
	4月27日	引き渡しシミュレーション
	5月2日	引き渡し訓練
	5月6日	土砂災害図上訓練
	5月6日	医ケア緊急時対応訓練
	5月25日	第2回避難訓練（火災）
	6月17日	スタートアップ研修（危機管理を高める）
	7月14日	消火訓練（初任者、新任者、希望者）
	8月1日	職員防災研修
	8月3日	児童生徒搜索訓練
	9月上旬	第2回職員初動訓練
	9月上旬	災害伝言版171訓練
	9月1日	起震車体験
	9月2日	第3回避難訓練（地震）、非常食給食
	10月18日	不審者対応訓練
10月25日	スクールバス避難訓練	
12～2月	第4回避難訓練（非通知・地震）	
令和5年度	4月4日	危機管理マニュアル研修
	4月7日	第1回職員初動訓練
	4月中旬	学校連絡・情報共有サービスの登録依頼、配信訓練
	4月19日	第1回避難訓練（地震）
	4月27日	引き渡しシミュレーション
	5月2日	引き渡し訓練
	5月18日	医ケア緊急時対応訓練
	5月19日	第2回避難訓練（火災）
	6月27日	土砂災害図上訓練
	7月21日	児童生徒搜索訓練
	7月24日	スタートアップ研修（危機管理を高める）
	7月31日	職員防災研修
	8月3日	消火訓練（初任者、新任者、希望者）
	9月上旬	第2回職員初動訓練
	9月上旬	災害伝言版171訓練
	9月1日	起震車体験
	9月4日	第3回避難訓練（地震）、非常食給食
	10月31日	不審者対応訓練
12月5日	スクールバス避難訓練	
12～2月	第4回避難訓練（非通知・地震）	

7 学校開放について

地域に開かれた学校づくりの一環として、教育活動に支障のない範囲で学校の施設・設備を地域に開放した。

年度別学校施設開放状況

(令和5年6月30日現在)

年度	No.	利用者名	利用施設	利用日数	利用者数	利用者負担金 (電気料)円)
R4	1	袋井OB・OGサッカー	グラウンド(雨天)体育館	9	207	756
	2	わかふじチャレンジ	体育館	11	110	0
	3	F.バッドボーイズ	体育館	2	14	0
	計			22	331	756
R5	1	袋井OBサッカークラブ	グラウンド(雨天)体育館	3	73	0
	2	わかふじチャレンジ	体育館	3	41	0
	3	F.バッドボーイズ	体育館	3	22	0
	4	福祉者スポーツセンター	グラウンド・体育館	1	16	452
	計			10	152	452

□□□□□□

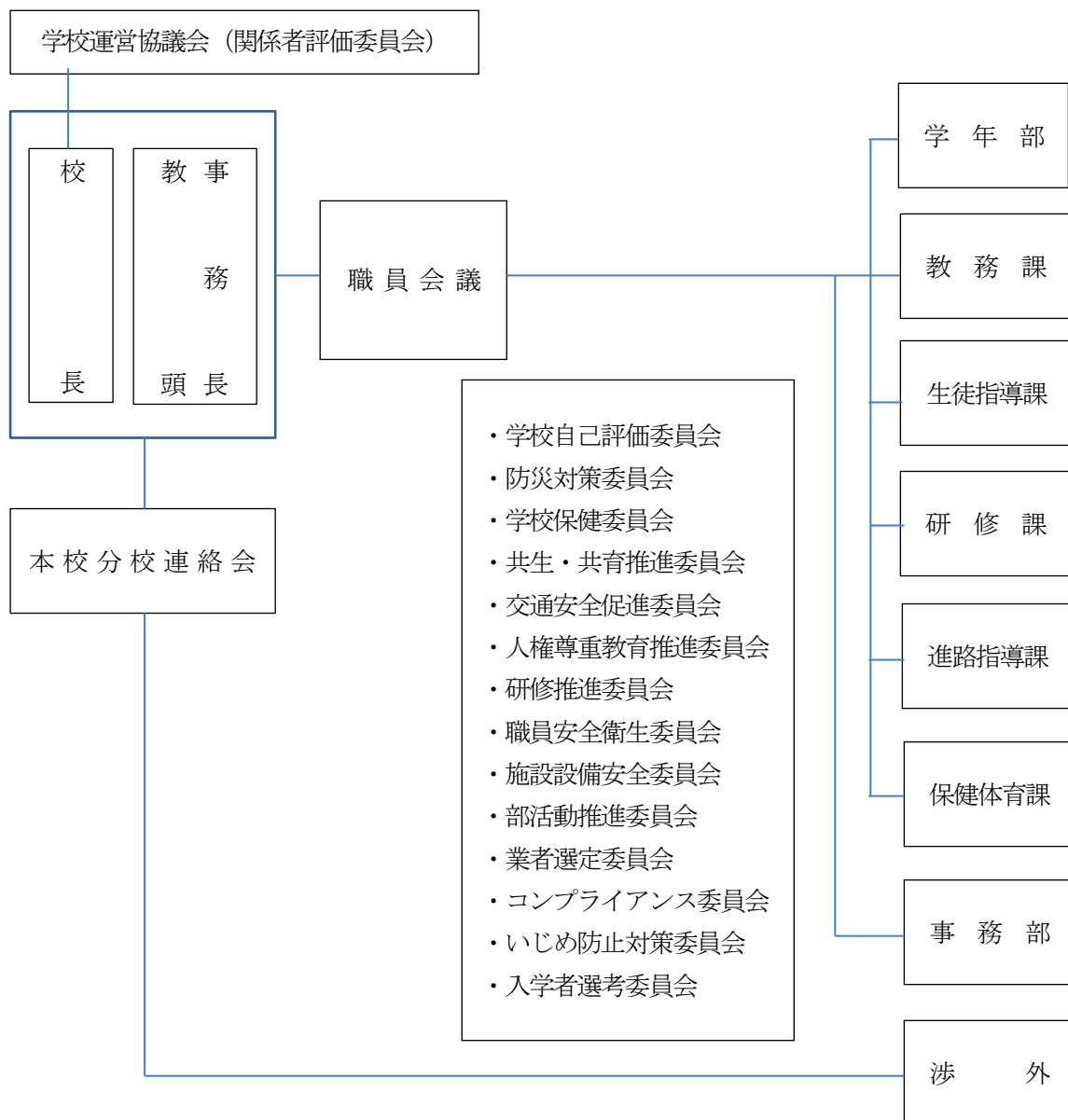
事務事業の概要(磐田見付分校)

1 概況

(1) 学校の沿革

- 平成 21. 4. 1 袋井特別支援学校磐田見付分校設置準備委員長他7人発令
21. 4. 6 袋井特別支援学校分校設置連絡協議会発足
22. 3. 8 静岡県立磐田北高等学校旧幼稚園舎改築工事竣工
22. 4. 1 静岡県立磐田北高等学校内に静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校開校
22. 4. 8 開校式、第1回入学式挙

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子を育てる ～自分のよさを磨いて豊かに生きる～

(2) 目指す学校像

- ア 安心して生活、学習できる学校
- イ 自分の力を精いっぱい発揮できる学校
- ウ 保護者、地域と共に歩む学校

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題

- ア 学びを支える環境をつくる。 (環境)
- イ 学びを積み上げる授業をつくる。 (生徒主体の授業)

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
安全 ・ 安心 ・ 充実	生徒の自律を促し、主体的な学校生活を送ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が学校生活をよりよくするための意見を出すことができる。(90%以上) ・規則を守って生活できる。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校則について自分たちで考え、行動を引き出したことが良い取組だと思う。話し合いが実を結んだ体験こそ大切である。 ・社会のルールを理解することにもつながる。
	生徒が安全と健康を守る習慣を身に付け、未然防止への行動力と有事への対応力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、職員それぞれが、登下校時に被災したときの対応を考え、行動することができる。 ・運動器具の正しい使い方が分かり、安全に扱うことができる。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地を地図上で示し、分かりやすく、見える化ができていた。 ・避難経路についてタブレットを活用し調べた。個別に取り組んだ効果が高く、そのことを学びあうことで、日常生活でも自身を守るスキルの向上につながる。 ・運動器具をはじめとした道具の理解は、すべての社会生活に生かせると思う。物の操作の基本になる。
交流	磐田北高校や地域との活動を工夫し、生徒の自立する力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・さみどり祭、体育大会で分校も企画の段階から参加することができる。 ・行事や学年交流以外に共同で活動する場を増やすことができる。(年2回以上) 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの活動を通して、次につながる活動(継続的な取組)が生まれたことは良かったと思う。 ・無理なく双方向で行えるものが望ましい。 ・消防服のリメイクは磐田見付分校の伝統・特色となるよう、今後も取り組んでほしい。

業務改善	効果的な業務の遂行をし、万全な体制で教育活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に業務を遂行することができるようになったと答える職員90%以上 ・定時退勤日徹底率95%以上 	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に業務を遂行する中に、突発対応も入れて考えてはどうか。 ・世間では時間のみに焦点が当たるが、組織化が必要ということは説明で理解ができた。 ・業務の平準化は常に必要である。 ・今後もDX等を活用しながら進めてほしい。
授業力の向上	主体的・対話的で深い学びのある授業を実践する	・目指す資質・能力を育むために「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点で授業改善を進める。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場を設ける際、グループ分けの工夫をし、取り組んでいた。 ・アドバイザーからの助言を活用されたり、一人で抱え込まず全体で考えたりしていると思う。
	年間計画を見直し、教科別、合わせた指導、行事等を関連付けた指導を行う。	・次年度に繋がるように授業反省や改善点を記入する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教科間が繋がることに期待する。
豊かな人間性	生徒が人権意識を高く持ち、友達と協力して安心して学習できる。	・学校評価で学校が楽しいですかという項目でA・Bと答える生徒90%以上。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる友達や教員の存在があることはとても良いと思う。次のステージにどうつなげるか。相談する内容についての掘り下げも関心がある。
地域との連携	学校運営協議会を活用して地域とのつながりを強める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と一緒に活動する機会を持つことができる。 ・見付の丘フェスタに地域の方が30人以上参加する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナー向上運動など地域の意見を積極的に教育活動に取り入れられている。今後もうまく活用してほしい。 ・見付の丘フェスタに地域住民64人が参加。盛況であった。
関係機関と連携	個別の教育支援計画を見直し、関係機関との連携に活用できるようにする。	・関係機関との連携に活用でき、業務が削減できたと感じる。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画、福祉分野、労働分野でも理解しやすい形になることを期待する。 ・他校の様式や他校の教員との意見交換を行うと良い。

家庭との連携	家庭との連携を図り、社会人としての基礎力を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会人としての基礎力向上計画表」より健康・体力面や対人関係等の傾向をまとめ、年3回以上生活便りとして家庭に配付する。また、課題を学校と家庭で共有し、社会人としての基礎力が向上したと答える保護者90%以上。 ・家庭生活の中で、体力向上に向けた取組が習慣化できている。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭生活の見直しが行えたケースもあった。 ・「生活する力」「体力」に課題がみられる家庭へのアプローチは学校のみでは限界があると考える。
--------	----------------------------	---	---	---	--

(2) 令和5年度取組目標・達成方法・成果目標

- ア 学びを支える環境をつくる。 (環境)
- イ 学びを積み上げる授業をつくる。 (生徒主体の授業)
- ウ 学びを共に育てる連携をつくる。 (連携)

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
学びを支える環境	有事への対応力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施する。 ・全生徒の居住地を地図上に示し、登下校時に被災したときの対応訓練を実施する。(職員、生徒、家庭) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割を理解し、行動することができたと答える職員90% 	生徒指導課
	安全・安心な環境	<ul style="list-style-type: none"> ・救急法講習会、緊急時対応訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の自分の役割が分かる。 	保健体育課
	より良い生活を送るための健康と体力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健教育の充実を図るため、活動内容を年計に明確にする。 ・良い姿勢づくり週間等を設け、生徒の姿勢保持への意識化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に結びつく内容を精選し、主体的な学びができるよう授業を計画する。 ・姿勢週間を意識し、生徒に投げ掛けた職員90% 	保健体育課 教務課
働く環境	効率的な業務の遂行をし、万全な体制を創る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、学部、分掌の会議の効率化を図り、組織として取り組む体制を創る。 ・19時以降降残の場合は、業務終了予定時刻を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・19時までに退勤した率90% (突発事項への対応は除く) 	運営委員会 学年主任者会

学びを積み上げる授業	教員の専門性の向上	作業学習の充実を図る。	・生徒が分かる、できるための具体的な方法について、作業班会で月1回以上話し合い、実践する。	・生徒が分かる、できる授業づくりを行う。 ・生徒が働く上での自分の強みを知る授業づくりができる。	研修課 教務課 各作業班
		教科学習の充実を図る。	・令和4年度に作成した全体計画や年間指導計画に基づき、授業実践をし、評価規準を意識した学習評価をする。	・指導計画に評価規準記入し授業を行った職員80%	教務課 研修課
	豊かな人間性	道徳教育の充実を図る。	・人とのかかわりに関することの指導内容を取り扱う。 ・特別の教科「道徳」の学びの足跡を掲示する。	・指導内容を共有することで、実生活の指導に生かすことができる。	生徒指導課 教務課
学びを共に育てる連携	磐田北高	生徒の自立する力を伸ばす。	・学年交流や委員会活動等において磐田北高生徒と共同学習の場を設ける。	・共通の行事及び学年交流以外で共同学習を2回以上実施する。	教務課 生徒指導課
	地域	・地域とのつながりを強める。 ・本校及び本校の教育課程について周知する。	・学校見学会や見付の丘フェスタ、地域販売会等を実施する。 ・販売会等で疑似体験や製品の説明等を通して活動の様子を伝える。	・生徒が製品のアピールポイントを説明することができるよう、意識して授業を行うことができる。	運営委員会 学年主任者会 各作業班
	関係機関	関係機関との連携の強化を図る。	・個別の教育支援計画を活用して情報の共有を図る。 ・必要に応じてケース会議の実施をする。	・実習等にかかわる打ち合わせで活用する。 ・生徒指導上必要なケースにおいて、関係機関との会議を設定する。	教務課 進路指導課 研修課
	家庭	家庭との連携を図るため、情報共有を図り、共有する。	・生徒の実態や進路に関する情報共有する場を設ける。	・個別面談や進路相談会、便りなどを通じて情報共有する場を5回以上設けることができる。	生徒指導課 進路指導課 各学年

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和4年度	磐田北高との共同活動を通して、共生・共育をさらに推進していく。 地域の方に本校の教育活動を知ってもらうため、「見付の丘フェスタ」や地域主催の行事等に参加する。	行事や授業だけでなく、生徒会活動等へ参加することで、相互理解の機会となった。 フェスタに向けての準備や当日の活動の様子、ハンドベル部のコンサートなどを通して、分校の教育や生徒の様子などを知ってもらう機会となった。
令和5年度	地域の方に本校の教育活動や生徒について知ってもらい、地域とのつながりを強めるため、「見付の丘フェスタ」や地域販売会を実施し、地域主催のイベントや事業にも参加する。	フェスタに向けての取組の発信だけでなく、授業や部活動の取組について、地域主催のイベントや施設訪問等で発表する機会を設け、本校の教育活動や生徒への理解を深めてもらう。 磐田市主催の事業に参加し生徒自身が意見等を述べることで、地域発展や課題解決に参画する。

5 教職員について

(1) 令和4年度異動状況

	本務職員					小計	臨時・会計年度職員				小計	合計
	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任		教諭(任)	教諭(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員		
転出者	1		4		1	6					0	6
退職者						0	1	1			2	2
転入者			2		1	3					0	3
新任者		1	2			3	1				1	4
差引増減	△ 1	1	0	0	0	0	0	△ 1	0	0	△ 1	△ 1

(2) 現員数

	本務職員					小計	臨時・会計年度職員					小計	合計
	教頭	教諭	養護教諭	主任			教諭(任)	教諭(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員		
男		7				7	1		1			2	9
女	1	8	1	1		11	1			1		2	13
計	1	15	1	1		18	2	0	1	0	1	4	22

(3) 健康管理について

【令和4年度】

ア 健康管理の推進

- (ア) 職員の健康を確保するため定期健康診断と事後措置を徹底し疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、健康管理医から職員の健康管理についての指導、助言を受けた。
- (イ) 職員のメンタル面での相談等について、ラインケアに努めた。
- (ウ) 新型コロナウイルス感染予防のため、消毒、環境整備、マスク着用、健康観察などを実施した。

イ 職場の健康づくり

- (ア) 職員安全衛生委員会を毎月開催した。職員個々の勤務状況や健康面を把握し配慮が必要な職員への配慮や改善策等について協議を行い、精神面や過重労働等による健康被害の防止に努めた。
- (イ) 毎週水曜日を定時退勤日と定め、18時完全施錠を実施した。
- (ウ) 時間外勤務の事前申請を徹底し、職員のタイムマネジメント力の向上を図った。
- (エ) 職場の健康づくり支援事業を活用した職員研修を計画・実施し、健康づくりについての意識向上を図った。

【令和5年度】

ア 健康管理の推進

- (ア) 職員の定期健康診断の実施と事後措置の徹底に向けて、職員への説明や周知を丁寧に行う。また、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、必要に応じて健康管理医から健康管理についての指導、助言を受ける。
- (イ) 職員のメンタル面での相談等について、ラインケアに努める。相談内容によって県教委教育厚生課や公立学校共済組合によるカウンセリング事業などの外部機関による専門的なケアを推奨する。
- (ウ) 基本的な感染症予防対策を講じながら、感染症に関する情報提供や注意喚起を適宜行う。

イ 職場の健康づくり

- (ア) 職員安全衛生委員会を毎月開催し職員個々の勤務状況や健康状態を把握するとともに、必要な職員への配慮や改善策等について協議を行うことで、精神面や過重労働等による健康被害の防止に努める。
- (イ) 毎週金曜日を定時退勤日と定め、18時完全施錠を徹底することでワークライフバランスの充実・理解を図る。
- (ウ) 時間外勤務の事前申請を徹底し、職員のタイムマネジメント力の向上を図る。
- (エ) 職場の健康づくり支援事業を活用した職員研修を計画・実施し、健康づくりについての意識向上を図る。

(4) 教職員の研修について

ア 校内研修

【令和4年度】

目的・研修内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマ「なりたい自分を目指す授業づくり」に向かうため、生徒自身が分析、記入した「なりたい自分プロジェクトシート」を基に生徒がなりたい自分を大切に、「分かる・できる」ための効果的なアプローチを検討、実践していく。 ・自主生産作業の年間指導計画・単元計画を基に各作業班が年間2回ずつ授業研究を実施し、参観者や助言者の意見を参考に授業改善を行う。 ・自立活動の視点で実態把握や課題の整理を行うための理解を深め、なりたい自分に迫るための検討を定期的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なりたい自分プロジェクトシート」を活用し、生徒がなりたい自分や生徒目標を達成するため、生徒が「分かる・できる」アプローチを作業班ごとに検討、実践した。そうしたことで、研修テーマに迫る授業改善を進めることができた。 ・各作業班において、計画を立てて実施した。授業参観の視点を絞り、指導、助言による授業改善を図ることができた。 ・独自の自立活動の指導内容整理表を使用した上、実態把握、課題整理の方法を知り、自立活動の視点でアプローチを検討することができた。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や強み・課題・生徒の思いを「なりたい自分プロジェクトシート」にまとめ、活用することで、生徒一人一人に適したアプローチを検討・実践し、授業改善を図ることができた。一方で、令和4年度はサブテーマである「～自分で選び、考え、決定する力を育む作業学習～」に切り切ることができなかつたため、授業づくりの方策を具体的に示し、サブテーマにも迫りながら更なる授業改善を進めていく。 	

【令和5年度】

目的・研修内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマ「なりたい自分を目指す授業づくり」に向かうため、生徒自身が分析、記入した「なりたい自分プロジェクトシート」を基に生徒のなりたい自分を大切に、生徒が目標を達成するための効果的なアプローチを検討、実践していく。また、「～自分で選び、考え、決定する力を育む作業学習～」に向かうため、生徒が自分で選び・考え・決定する仕掛けの設定に重点を置き授業づくりをしていく。 ・自主生産作業の年間指導計画・単元計画を基に各作業班が授業研究を実施し、参観者や助言者の意見を参考に授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が分析・記入した「なりたい自分プロジェクトシート」と教員分析を基にして、目標を達成するための効果的なアプローチを検討し、実践している。また、生徒が自分で選び・考え・決定する仕掛けについて、各作業班で検討、実践している。 ・年間指導計画・単元計画を基にして、各作業班で計画を立て授業研究を実施している。参観者や助言者の意見を受け、具体的に取り組む内容を明確にした上、授業改善を行っている。

目的・研修内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、自立活動の視点で実態把握や課題の整理を行うための理解を深め、なりたい自分に迫るための検討を定期的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 独自の自立活動の指導内容整理表を使用して生徒の実態把握を行う方法の学習会を行い、なりたい自分に迫るため、アプローチの検討・実践につなげている。

イ 教職員の専門性向上

【令和4年度】

目的・研修内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> 校外での研修会や講演会に参加することによる校内研修への充実につなげるため、全教職員への研修会等の情報提供により参加を促す。 校外の研修会や講演会の参加報告の時間を設け、全教職員が情報を知ることができるようにする。 教科の指導の専門性向上のため、全員が1回は公開授業を行い、指導・助言を受けて授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 随時情報提供することで他校の研修会や総合教育センターの研修について、多くの教職員が参加することができた。 参加報告の時間を設けたことにより、研修会、講演会で得た情報を共有することができた。 12月末までに全員が公開授業を行い、指導・助言を受けたことを基に授業改善を進め、その後の授業を行うことができた。
課題 <ul style="list-style-type: none"> 全員実施の授業公開は授業実施者が指導・助言をもらう場との意識が強いため、率先して授業を参観した教職員は少数であった。指導・助言をもらうだけでなく、授業を参観し合うことで教科指導の専門性の向上につなげていけるようにしたい。 	

【令和5年度】

目的・研修内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> 校外での研修会や講演会に参加することによる校内研修の充実を図るため、全教職員への研修会等の情報提供をする。 教科の指導の専門性向上のため、全員が1回は公開授業を行い、授業実施者は指導・助言を受けて授業改善を行う。参観者は参観した授業を参考にして、授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修テーマや今年度の取り組みに関する研修会や講演会についての情報提供を行い、活用に結び付くような他校の研修会や総合教育センターの研修への参加を予定している。 全員の公開授業実施は、12月末までに計画している。授業実施者は、参観者の意見・助言を受けて授業改善を行う。また、参観者は、参観した授業の良い点を取り入れることや自分の授業を振り返るなどして教科指導の専門性の向上を図っていく。

6 防災対策について

令和4年度は、予定どおり訓練を実施し、防災についての意識向上や避難方法の確認などを行うことができた。

年度別防災訓練実施状況

年 度	月 日	内 容
令和4年度	4月27日	第1回防災訓練（地震）
	9月1日	災害伝言ダイヤル訓練
	9月6日	第2回防災訓練（地震、磐田北高校との合同訓練）
	12月15日	第3回防災訓練（地震、告知なし及び下校時対応訓練）
	12月19日	非常食体験 ※各回の防災訓練実施後、学年別の防災教育を実施。
令和5年度	4月21日	第1回防災訓練（地震）
	9月1日	災害伝言ダイヤル訓練
	11月27日	第2回防災訓練（地震・火災）
	12月15日	第3回防災訓練（地震、告知なし及び下校時対応訓練）
	12月19日	非常食体験 ※各回の防災訓練実施後、学年別の防災教育を実施予定。

7 学校開放について

なし

□□□□□□

学校施設の概要

1 面積及び所有区分

(1) 本校

(令和5年6月30日現在)

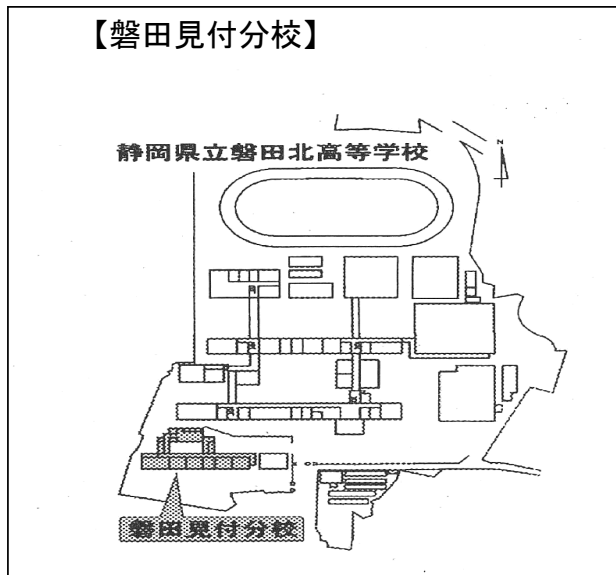
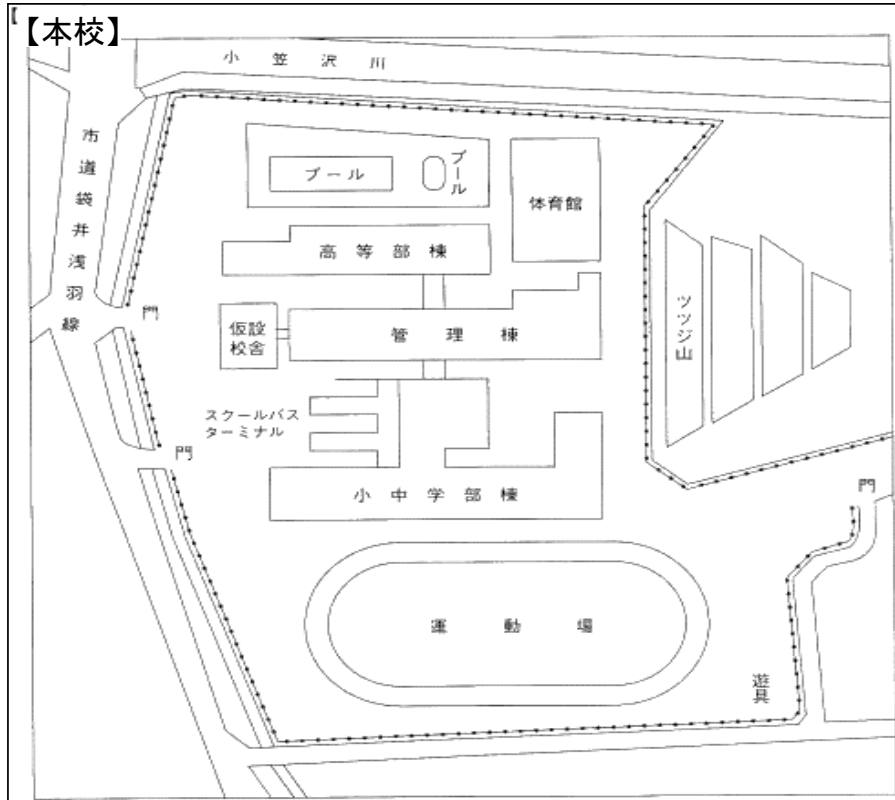
区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳				摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	21,509.90	20,708.90			801.00	
内 訳	校 舎 敷 地	11,887.00	11,887.00			
	運 動 場 敷 地	4,364.00	4,364.00			
	そ の 他 の 敷 地	5,258.90	4,457.90		801.00	
校 舎	建 4,043.64	3,803.45			240.19	民有:仮設校舎(民間リース) 借受期間H17.5.2~R7.4.30
	延 8,248.70	7,791.72			456.98	
体 育 館	建 500.00	500.00				
	延 500.00	500.00				
そ の 他 の 建 物	建 916.11	916.11				
	延 916.11	916.11				
プ ー ル	255	255				大 25m×8m 小 11m×5m

(2) 磐田見付分校

(令和5年6月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳				摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	3,500.40	3,500.40				磐田北高等学校使用承認
内 訳	校 舎 敷 地	2,163.40	2,163.40			
	運 動 場 敷 地	1,337.00	1,337.00			
校 舎	建 927.86	927.86				
	延 739.25	739.25				

2 配置・規模等
 (1) 校舎の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積	
当 校	本 校	16,251.00㎡	8,248.70㎡	4,364.00㎡
	磐田見付分校	3,500.40㎡	739.25㎡	1,337.00㎡
県 平 均	18,814.78㎡	6,914.52㎡	5,244.39㎡	

※ 本校の校舎延面積には、仮設校舎（民間リース）の456.98㎡を含む。
 借受期間：H17.5.2～R7.4.30

在 籍

○数字：訪問教育児童生徒の外数

学年	学科別 区分	小 学 部 (本 校)			中 学 部 (本 校)			高 等 部 (本 校)				高 等 部 (磐田見付分校)			
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
		1年	入学者	12	4	16	20	① 10	① 30	35	26	9	35	18	13
増 加															
減 少															
	現 在	12	4	16	20	① 10	① 30		26	9	35		13	5	18
2年	入学者	① 16	4	① 20	15	① 10	① 25	42	25	13	38	18	9	3	12
	増 加				1		1								
	減 少														
	2年時当初	① 15	4	① 19	16	① 10	① 26		25	13	38		9	3	12
	増 加														
	減 少														
	現 在	① 15	4	① 19	16	① 10	① 26		25	13	38		9	3	12
3年	入学者	21	① 12	① 33	13	6	19	45	27	15	42	18	9	5	14
	増 加				1	1	2								
	減 少				1	1	2			1	1				
	2年時当初	21	① 12	① 33	13	6	19		27	14	41		9	5	14
	増 加	1	2	3											
	減 少		1	1											
	3年時当初	22	① 13	① 35	13	6	19		27	14	41		9	5	14
	増 加	1		1											
	現 在	23	① 13	① 36	13	6	19		27	14	41		9	5	14
4年	入学者	21	4	25											
	増 加														
	減 少														
	2年時当初	21	4	25											
	増 加	1		1											
	減 少	1		1											
	3年時当初	21	4	25											
	増 加	1		1											
	減 少	1		1											
		4年時当初	21	4	25										
増 加	1		1												
減 少															
	現 在	22	4	26											

生 徒 調

(令和5年6月30日現在)

学年	学科別 区分	小 学 部 (本 校)			中 学 部 (本 校)			高 等 部 (本 校)				高 等 部 (磐田見付分校)			
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
5年	入学者	12	7	19											
	増 加														
	減 少														
	2年時当初	12	7	19											
	増 加	1		1											
	減 少	1		1											
	3年時当初	12	7	19											
	増 加	1		1											
	減 少		1	1											
	4年時当初	13	6	19											
	増 加		1	1											
	減 少														
5年時当初	13	7	20												
増 加															
減 少															
現 在	13	7	20												
6年	入学者	15	① 8	① 23											
	増 加	2		2											
	減 少	1		1											
	2年時当初	16	① 8	① 24											
	増 加		1	1											
	減 少	1	① 1	① 1											
	3年時当初	15	9	24											
	増 加														
	減 少														
	4年時当初	15	9	24											
	増 加	1	2	3											
	減 少	1	1	2											
	5年時当初	15	10	25											
	増 加														
	減 少	1		1											
	6年時当初	14	10	24											
	増 加	1		1											
	減 少														
現 在	15	10	25												
合 計	① 100	① 42	② 142	49	② 26	② 75		78	36	114		31	13	44	

入学志願者及び入学者数調

(本校)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員(A)		36	54	45	42	35
募集者数(B)		36	54	45	42	35
志願者数	男	23	30	27	25	26
	女	9	13	15	13	9
	計(C)	32	43	42	38	35
受検者数	男	23	30	27	25	26
	女	9	13	15	13	9
	計(D)	32	43	42	38	35
合格者数	男	23	30	27	25	26
	女	9	13	15	13	9
	計(E)	32	43	42	38	35
志願倍率(C)/(B)		0.89	0.80	0.93	0.90	1.00
受検倍率(D)/(B)		0.89	0.80	0.93	0.90	1.00
入学者数	男	23	30	27	25	26
	女	9	13	15	13	9
	計(F)	32	43	42	38	35
充足率(F)/(A)		0.89	0.80	0.93	0.90	1.00

(磐田見付分校)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員(A)		18	18	18	18	18
募集者数(B)		18	18	18	18	18
志願者数	男	18	17	10	9	16
	女	4	8	5	3	9
	計(C)	22	25	15	12	25
受検者数	男	18	17	10	9	16
	女	4	8	5	3	9
	計(D)	22	25	15	12	25
合格者数	男	14	11	9	9	13
	女	4	7	5	3	5
	計(E)	18	18	14	12	18
志願倍率(C)/(B)		1.22	1.39	0.83	0.67	1.39
受検倍率(D)/(B)		1.22	1.39	0.83	0.67	1.39
入学者数	男	14	11	9	9	13
	女	4	7	5	3	5
	計(F)	18	18	14	12	18
充足率(F)/(A)		1.00	1.00	0.78	0.67	1.00

卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部 (本科)		合 計
			本 校	磐田見付分校	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部		17			17
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職			15	14	29
上 記 以 外 ※		1	27	3	31
不詳・死亡					
計 (卒業生総数)		18	42	17	77

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部 (本科)		合 計
			本 校	磐田見付分校	
児童福祉施設					
障害者支援施設		1	27	1	29
(うち就労系支援事業利用者)		(0)	(21)	(1)	(22)
医療機関					
計		1	27	1	29

□□□□□□

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和5年6月30日現在) (単位:人)

(本校)

市 町 名	磐 田 市	掛 川 市	袋 井 市	森 町	そ の 他	合 計
生 徒 数	173	11	129	21	1	335
構 成 比 %	51.6%	3.3%	38.5%	6.3%	0.3%	100%

(磐田見付分校)

市 町 名	磐 田 市	掛 川 市	袋 井 市	森 町	合 計
生 徒 数	23	8	9	4	44
構 成 比 %	52.3%	18.2%	20.4%	9.1%	100%

(2) 通学方法 (令和5年6月30日現在) (単位:人)

(本校)

区 分	スクールバス	交通機関	自家用車 (送迎)	徒 歩	自 転 車	合 計
生 徒 数	165	46	87	12	21	331
構 成 比 %	49.9%	13.9%	26.3%	3.6%	6.3%	100%

(磐田見付分校)

区 分	交通機関	自家用車 (送迎)	徒 歩	自 転 車	合 計
生 徒 数	15	1	4	24	44
構 成 比 %	34.1%	2.3%	9.1%	54.5%	100%

(3) (特別支援学校)

訪問教育の状況 (令和5年6月30日現在) (単位:人)

訪 問 教 員 等		市 町	森 町	磐 田 市	掛 川 市	菊 川 市	計
小・中 学 部	教諭	2	小学部	1	1		2
	講師		中学部	1		1	2
高等部	教諭		高等部				
	講師						
計		2	計	1	1	1	4

2 部（クラブ）の加入状況 （令和5年6月30日現在）（単位：人）
（本校）

区 分		高 等 部			
		運 動 部	文 化 部	未加入者	計
部(クラブ)数		4	1		5
男子	1年	14	26		40
	2年	11	25		36
	3年	12	27		39
	計(A)	37	78		115
	構成比	47.4%	100%		—
女子	1年	5	9		14
	2年	4	13		17
	3年	9	14		23
	計(B)	18	36		54
	構成比	50.0%	100%		—
合計	(A)+(B)	55	114		169
	構成比	48.2%	100%		—

※文化部は全員加入となっており、運動部にも入っている生徒がいるため、生徒数計は在籍生徒数と一致しない。

（磐田見付分校）

区 分		高 等 部			
		運 動 部	文 化 部	未加入者	計
部(クラブ)数		1	1		2
男子	1年	6	1	6	13
	2年	7		2	9
	3年	5	3	1	9
	計(A)	18	4	9	31
	構成比	58.1%	12.9%	29.0%	100.0%
女子	1年	2		3	5
	2年	1		2	3
	3年	2	1	2	5
	計(B)	5	1	7	13
	構成比	38.5%	7.7%	53.8%	100.0%
合計	(A)+(B)	23	5	16	44
	構成比	52.3%	11.4%	36.3%	100.0%

3 障害別児童生徒数

(令和5年6月30日現在) (単位:人)

(本校)

区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学 級 数	
小学部	単一障害	7	9	18	13	12	13	72	15
	重複障害	6	7	13	10	6	9	51	18
	肢体重複	3	4	6	3	2	3	21	8
	合計	16	20	37	26	20	25	144	41
		(1)	(1)				(2)	(1)	
中学部	単一障害	19	16	12				47	9
	重複障害	8	8	5				21	8
	肢体重複	4	3	2				9	4
	合計	31	27	19				77	21
	(1)	(1)					(2)	(1)	
高等部	単一障害	31	33	34				98	12
	重複障害	3	3	3				9	3
	肢体重複	1	2	4				7	4
	合計	35	38	41				114	19

()は訪問教育児童生徒の内数

(磐田見付分校)

区 分	1年	2年	3年	合 計	学 級 数	
高等部	単一障害	18	12	14	44	6
	重複障害					
	肢体重複					
	合計	18	12	14	44	6

4 起因疾患別児童生徒数

(令和5年6月30日現在) (単位:人)

(本校)

区 分	脳 性	染 色 体	先天性神経・代謝・筋肉等	自 閉 症スペクトラム	その他の知的発達遅滞	計
小学部	17	25	3	62	35	142
中学部	8	15	1	27	24	75
高等部	8	6		44	56	114
訪 問	1	1	2			4
計	34	47	6	133	115	335

(磐田見付分校)

区 分	脳 性	染 色 体	先天性神経・代謝・筋肉等	自 閉 症スペクトラム	その他の知的発達遅滞	計
高等部				18	26	44
計				18	26	44

□□□□□□

特別支援学校における生産物売払調

令和5年度

(令和5年6月30日現在)

	主な生産品目			
5 年 度	<p>【本校】 <青果> タマネギ</p>			
	① 売払金額	3,200 円	②前年度との差額	△765,800 円
4 年 度	<p>【本校】 <青果> タマネギ、サツマイモ、二十大根、大根 <革工芸品> ストラップ、ペンケース、スクエアコインケース、カードケース、コードクリップ <紙工芸品> はがき、ガーランド、かごバッグ、平編みかご、ダストボックス、ペン立て、ふたつきかご、レターセット、卓上カレンダー <手芸製品> パッチワークトート、水筒ケース、ポシェット、ティッシュケース、ランチバッグ、巾着袋、小物入れ、花ボックス、トートバッグ、ハーバリウム、レジンマグネット、ブランケット、ブックカバー、ポーチ <木工製品> キーホルダー、ペン立て、小物入れ、コースター、なべしき、ウッドスタンド <陶芸品> 鉢、箸置き、カレー皿、傘立て、丸皿、角皿、大皿、さんま皿、小鉢、茶碗、マグカップ、フリーカップ、コーヒーカップ、湯飲み、ドアプレート、傘立て</p> <p>【磐田見付分校】 <革工芸品> コードクリップ、キーホルダー、ペンケース、小物入れ、名刺入れ、ブレスレット <木工製品> キーホルダー、コースター、ウッドランプ、プランツハンガー、ブレスレット <縫製品> 畳へりポーチ、トートバッグ、トートショルダーバッグ、畳ウォレット、切り替えバッグ、帆布ポーチ、ミサンガ</p>			
	① 売払金額	769,000 円	② 前年度との差額	147,900 円

3 年 度	<p>【本校】</p> <p><青果> タマネギ、さつまいも</p> <p><革工芸品> ストラップ、ペンケース、コードクリップ</p> <p><紙工芸品> かごバック、平編みかご、フォトフレーム、コースター、メモ帳、卓上カレンダー、芳香剤</p> <p><手芸製品> ハーバリウム、トートバッグ、パッチワークバッグ、マット、サコッシュ、ポーチ、鍋敷き、トイレトペーパーホルダー、ボトルホルダー、ウォールポケット、巾着袋、クリスマスリース、コースター</p> <p><木工製品> バチ、キーホルダー、メモ帳台、マグネット、コースター、カッティングボード、ペン立て</p> <p><陶芸品> キャンドルシェード、板皿、丸皿、角皿、カレー皿、大皿、マグカップ、フリーカップ、コーヒーカップ、茶碗、湯呑、煎茶椀、小鉢、マグネット</p> <p>【磐田見付分校】</p> <p><革工芸品> キーホルダー、コードクリップ、ストラップ、ブレスレット、コインケース、マルチポーチ、キーケース、名刺ケース</p> <p><木工製品> ウッドランプ、椅子、プランツハンガー、コースター</p> <p><縫製品> はし袋、ヘアゴム、お正月飾り、トートリュック、タペストリー、ボックスティッシュケース</p>		
	① 売払金額	621,100 円	② 前年度との差額

余 白

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	600	600	0
項 02手数料	600	600	0
目 04教育手数料	600	600	0
02証明書発行手数料	600	600	0
款 10財産収入	769,000	769,000	0
項 02財産売払収入	769,000	769,000	0
目 03生産物売払収入	769,000	769,000	0
07学校生産物売払収入	769,000	769,000	0
款 14諸収入	3,471,005	3,471,005	0
項 07雑入	3,471,005	3,471,005	0
目 02雑入	3,471,005	3,471,005	0
81保険料負担金	3,463,911	3,463,911	0
非常勤職員	3,460,251	3,460,251	0
臨時職員	3,660	3,660	0
84雑収	7,094	7,094	0
雑収	756	756	0
古新聞・雑誌	6,338	6,338	0
計	4,240,605	4,240,605	0

執 行 状 況 調

(令和 4年度)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 08使用料及び手数料	円 900	円 900	円 0
項 02手数料	900	900	0
目 07教育手数料	900	900	0
02証明書発行手数料	900	900	0
款 10財産収入	4,168	3,200	0
項 02財産売払収入	4,168	3,200	0
目 02物品売払収入	968	0	0
01不用品売払収入	968	0	0
鉄屑	968	0	0
目 03生産物売払収入	3,200	3,200	0
07学校生産物売払収入	3,200	3,200	0
款 14諸収入	695,224	692,848	0
項 07雑入	695,224	692,848	0
目 02雑入	695,224	692,848	0
81保険料負担金	692,848	692,848	0
非常勤職員	692,848	692,848	0
84雑収	2,376	0	0
計	700,292	696,948	0

執行状況調

(令和 5年度)
(令和 5年 6月30日現在)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	968	968	100.0	100.0
0	0	968	968	100.0	100.0
0	0	968	968	-	-
0	0	968	968	-	-
0	0	968	968	-	-
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	2,376	2,376	100.0	100.0
0	0	2,376	2,376	100.0	100.0
0	0	2,376	2,376	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	2,376	2,376	-	-
0	0	3,344	3,344	100.0	100.0

□□□□□

現金出納調

(令和 4年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 600	円 600	円 600	円 0	円 600 2 枚	円 600 2 枚
生産物売払収入	0	769,000	769,000	769,000	0	769,000 41 枚	769,000 41 枚
計	0	769,600	769,600	769,600	0	769,600 43 枚	769,600 43 枚

□□□□□

現金出納調

(令和 5年度)

(令和 5年 6月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 900	円 900	円 900	円 0	円 900 2 枚	円 900 2 枚
生産物売払収入	0	3,200	3,200	3,200	0	3,200 1 枚	3,200 1 枚
計	0	4,100	4,100	4,100	0	4,100 3 枚	4,100 3 枚

□□□□□□□□

預 金 調

(令和5年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘 要
静岡銀行袋井支店	無利息型普通預金	355983	静岡県立袋井特別支援学校 資金前渡者 鈴木 滋夫	0	給料法定外控 除、県費現金 支払経費
静岡銀行袋井支店	無利息型普通預金	751274	(自振口) 静岡県立袋井特別支援学校 資金前渡者 鈴木 滋夫	0	通信・光熱水費 社会保険料等の 口座振替
静岡銀行袋井支店	無利息型普通預金	366686	静岡県立袋井特別支援学校 奨励費 代理受領者 鈴木 滋夫	0	就学奨励費の 代理受領
残 高 合 計				0	

□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和5年6月30日現在)

(単位：枚、円)

(本校)

区 分	種 類	令和4年度						令和5年度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額		枚数	金 額
郵 券	2円券	33	66	0	0	18	36	15	30	0	0	5	10	10	20	文 書 発 送 用
	10円券	0	0	10	100	10	100	0	0	0	0	0	0	0	0	
	82円券	17	1,394	0	0	17	1,394	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	54	4,536	310	26,040	295	24,780	69	5,796	180	15,120	190	15,960	59	4,956	
	94円券	0	0	0	0	0	0	0	0	2	188	2	188	0	0	
	100円券	0	0	2	200	2	200	0	0	0	0	0	0	0	0	
	120円券	0	0	12	1,440	12	1,440	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		/	5,996	/	27,780	/	27,950	/	5,826	/	15,308	/	16,158	/	4,976	

□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和5年6月30日現在)

(単位：枚、円)

(磐田見付分校)

区 分	種 類	令和4年度						令和5年度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額		枚数	金 額
郵 券	10円券	8	80	0	0	0	0	8	80	0	0	0	0	8	80	文 書 発 送 用
	84円券	40	3,360	80	6,720	62	5,208	58	4,872	26	2,184	16	1,344	68	5,712	
	94円券	0	0	0	0	0	0	0	0	2	188	1	94	1	94	
計		/	3,440	/	6,720	/	5,208	/	4,952	/	2,372	/	1,438	/	5,886	

□□□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和5年6月30日現在)

(本 校)

区分 品名	令和4年度						令和5年度						差引現在高	摘要	
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額			
牛革タンロー	0	0	466デシ	74,560	466デシ	74,560	0	0	215デシ	34,400	71デシ	11,360	144デシ	23,040	
粘土	0	0	260kg	41,195	260kg	41,195	0	0	200kg	34,595	40kg	6,288	160kg	28,307	
計		0		115,755		115,755		0		68,995		17,648		51,347	

□□□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和5年6月30日現在)

(磐田見付分校)

区分 品名	令和4年度						令和5年度						差引現在高	摘要	
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額			
牛革タンロー	0	0	576デシ	100,000	576デシ	100,000	0	0	440デシ	70,400	275デシ	44,000	165デシ	26,400	
計		0		100,000		100,000		0		70,400		44,000		26,400	

□□□□□

歳入歳出外現金調

(令和 4年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 882,900	円 882,900	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	66,012	66,012	0	
所得税	23,046	448,013	448,939	22,120	
県市町村民税	0	84,600	76,200	8,400	
計	23,046	1,481,525	1,474,051	30,520	

□□□□□

歳入歳出外現金調

(令和 5年度)
(令和 5年 6月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 484,321	円 335,214	円 149,107	
教職員互助組合掛金等	0	35,590	35,590	0	
所得税	22,120	214,115	144,439	91,796	
県市町村民税	8,400	16,800	25,200	0	
計	30,520	750,826	540,443	240,903	

歳出予算執行状況調

一般会計

(令和4年度)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	243,364,598	243,364,598	0	
項 02 教育委員会費	21,303,510	21,303,510	0	
目 03 教育管理費	21,057,510	21,057,510	0	
08 旅費	10,000	10,000	0	
02 普通旅費	10,000	10,000	0	
10 需用費	2,029,200	2,029,200	0	
01 その他の需用費	2,029,200	2,029,200	0	
11 役務費	48,810	48,810	0	
13 使用料及び賃借料	2,970,000	2,970,000	0	
14 工事請負費	15,999,500	15,999,500	0	
目 04 教育厚生費	246,000	246,000	0	
01 報酬	246,000	246,000	0	
03 非常勤職員報酬	246,000	246,000	0	
項 07 特別支援学校費	206,981,440	206,981,440	0	
目 01 特別支援学校費	54,037,667	54,037,667	0	
01 報酬	24,437,018	24,437,018	0	
03 非常勤職員報酬	24,437,018	24,437,018	0	
03 職員手当等	5,014,329	5,014,329	0	
01 その他の職員手当等	5,014,329	5,014,329	0	
04 共済費	20,475,323	20,475,323	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	20,475,323	20,475,323	0	
08 旅費	4,110,997	4,110,997	0	
01 その他の旅費	1,429,702	1,429,702	0	
02 普通旅費	2,681,295	2,681,295	0	
目 02 特別支援学校管理費	152,943,773	152,943,773	0	
01 報酬	5,485,500	5,485,500	0	
03 非常勤職員報酬	5,485,500	5,485,500	0	
03 職員手当等	325,080	325,080	0	

一般会計

(令和 4年度)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の職員手当等	325,080	325,080	0	
04 共済費	235,850	235,850	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	235,850	235,850	0	
07 報償費	845,000	845,000	0	
01 その他の報償費	845,000	845,000	0	
08 旅費	1,764,860	1,764,860	0	
01 その他の旅費	71,640	71,640	0	
02 普通旅費	1,693,220	1,693,220	0	
10 需用費	24,338,838	24,338,838	0	
01 その他の需用費	24,334,438	24,334,438	0	
02 食糧費	4,400	4,400	0	
11 役務費	3,536,463	3,536,463	0	
12 委託料	80,394,054	80,394,054	0	
13 使用料及び賃借料	1,353,832	1,353,832	0	
15 原材料費	215,755	215,755	0	
17 備品購入費	1,417,900	1,417,900	0	
18 負担金、補助及び交付金	64,900	64,900	0	
19 扶助費	32,860,341	32,860,341	0	
26 公課費	105,400	105,400	0	
項 08 学校教育費	15,079,648	15,079,648	0	
目 03 特別支援教育費	928,284	928,284	0	
01 報酬	855,000	855,000	0	
03 非常勤職員報酬	855,000	855,000	0	
04 共済費	3,055	3,055	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,055	3,055	0	
08 旅費	70,229	70,229	0	
01 その他の旅費	70,229	70,229	0	
目 04 健康体育費	14,151,364	14,151,364	0	

□□□□□□

一般会計

(令和 4年度)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
07 報償費	19,800	19,800	0	
01 その他の報償費	19,800	19,800	0	
10 需用費	719,915	719,915	0	
01 その他の需用費	719,915	719,915	0	
11 役務費	258,600	258,600	0	
12 委託料	13,153,049	13,153,049	0	
計	243,364,598	243,364,598	0	

歳出予算執行状況調

(令和 5年度)
(令和 5年 6月30日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	168,164,690	33,384,889	134,779,801	
項 02 教育委員会費	4,504,210	539,660	3,964,550	
目 03 教育管理費	4,258,210	539,660	3,718,550	
08 旅費	10,000	0	10,000	
02 普通旅費	10,000	0	10,000	
10 需用費	1,233,000	42,900	1,190,100	
01 その他の需用費	1,233,000	42,900	1,190,100	
11 役務費	45,210	1,760	43,450	
13 使用料及び賃借料	2,970,000	495,000	2,475,000	
目 04 教育厚生費	246,000	0	246,000	
01 報酬	246,000	0	246,000	
03 非常勤職員報酬	246,000	0	246,000	
項 07 特別支援学校費	145,515,501	30,492,164	115,023,337	
目 01 特別支援学校費	55,152,045	11,047,798	44,104,247	
01 報酬	24,400,000	4,150,685	20,249,315	
03 非常勤職員報酬	24,400,000	4,150,685	20,249,315	
03 職員手当等	5,290,000	2,608,841	2,681,159	
01 その他の職員手当等	5,290,000	2,608,841	2,681,159	
04 共済費	20,400,000	3,296,156	17,103,844	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	20,400,000	3,296,156	17,103,844	
08 旅費	5,062,045	992,116	4,069,929	
01 その他の旅費	1,400,000	254,551	1,145,449	
02 普通旅費	3,662,045	737,565	2,924,480	
目 02 特別支援学校管理費	90,363,456	19,444,366	70,919,090	
01 報酬	1,385,000	468,500	916,500	
03 非常勤職員報酬	1,385,000	468,500	916,500	
03 職員手当等	229,000	228,312	688	
01 その他の職員手当等	229,000	228,312	688	

一般会計

(令和 5年度)
(令和 5年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
04 共済費	249,000	57,418	191,582	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	249,000	57,418	191,582	
07 報償費	1,254,000	171,500	1,082,500	
01 その他の報償費	1,254,000	171,500	1,082,500	
08 旅費	1,870,040	17,617	1,852,423	
01 その他の旅費	204,040	17,617	186,423	
02 普通旅費	1,666,000	0	1,666,000	
10 需用費	19,559,200	2,848,316	16,710,884	
01 その他の需用費	19,537,200	2,847,084	16,690,116	
02 食糧費	22,000	1,232	20,768	
11 役務費	4,096,800	171,111	3,925,689	
12 委託料	57,162,416	14,493,036	42,669,380	
13 使用料及び賃借料	1,487,000	325,261	1,161,739	
15 原材料費	375,000	139,395	235,605	
17 備品購入費	2,510,000	489,500	2,020,500	
18 負担金、補助及び交付金	128,000	34,400	93,600	
26 公課費	58,000	0	58,000	
項 08 学校教育費	18,144,979	2,353,065	15,791,914	
目 03 特別支援教育費	984,000	161,889	822,111	
01 報酬	900,000	150,000	750,000	
03 非常勤職員報酬	900,000	150,000	750,000	
04 共済費	4,000	0	4,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,000	0	4,000	
08 旅費	80,000	11,889	68,111	
01 その他の旅費	80,000	11,889	68,111	
目 04 健康体育費	17,160,979	2,191,176	14,969,803	
07 報償費	21,600	1,800	19,800	
01 その他の報償費	21,600	1,800	19,800	

□□□□□□

一般会計 (令和 5年度)
(令和 5年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
10 需用費	657,000	0	657,000	
01 その他の需用費	657,000	0	657,000	
11 役務費	288,200	0	288,200	
12 委託料	16,194,179	2,189,376	14,004,803	
計	168,164,690	33,384,889	134,779,801	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和3年度	令和4年度	左のうち、令和3年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	0	/
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		80,394,054	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		13,153,049	
計					81,387,914	93,547,103	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	15,999,500	/
計					550,000	15,999,500	0
(16)公有財産購入費					/	0	/
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	0	/
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		1,417,900	
計					2,325,224	1,417,900	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	0	/
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		64,900	
計					78,250	64,900	0
(21)補償、補填及び賠償金					/	0	/
計					0	0	0

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
					うち、令和4年度からの繰越額分	
(12)委託料	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	14,493,036	0
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	2,189,376	0
計					16,682,412	0
(14)工事請負費					0	0
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	489,500	0
計					489,500	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	34,400	0
計					34,400	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

□□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	通学バス輸送業務委託	鯨バス(株)	158,176,140	109,629,537	0	109,629,537
2	スクールバス運行管理業務委託	武州総合サービス静岡 (株)静岡事業所	12,892,236	11,286,000	0	11,286,000
3	新型コロナウイルス感染症対策通学バス輸送業務委託	鯨バス(株)	13,831,290	13,831,290	0	13,831,290
4	新型コロナウイルス感染症対策通学バス輸送業務委託	鯨バス(株)	17,098,752	17,098,752	0	17,098,752
5	新型コロナウイルス感染症対策通学バス輸送業務委託	鯨バス(株)	10,753,512	10,753,512	0	10,753,512
6	給食業務委託	(株)ミカサ	49,519,360	38,280,000	0	38,280,000

関 する 調

(令和4年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	3.4.1~6.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 5.4.28 小計	円 (43,316,321) 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 2,763,050 33,156,600	通学バス配車・児童生徒輸送 通常便 大型バス3台・中型1台 感染症対策による増便 大型4台 運行日数(通常)(増便) 3年度 203日 74日 4年度 203日 5年度 202日	R3長期
一般	3.4.1~6.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 5.4.28 小計	(3,762,000) 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 313,500 3,762,000	県有スクールバス運行・管理 大型バス 1台 運行日数 3年度 203日 4年度 203日 5年度 202日 管理日数 (休業明け整備3日、定期点検4日) 3年度 7日 4年度 7日 5年度 7日	R3長期
随契	4.4.1~4.7.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 小計	3,457,821 3,457,821 3,457,821 3,457,827 13,831,290	新型コロナウイルス感染症対策のための 通学バス配車・児童生徒輸送(増便) 大型バス 4台 運行日数 74日	随契2号 (不適)
随契	4.8.31~4.12.28	4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 小計	219,215 4,384,295 4,384,295 4,384,295 3,726,652 17,098,752	新型コロナウイルス感染症対策のための 通学バス配車・児童生徒輸送(増便) 大型バス 4台 運行日数 78日	随契2号 (不適)
随契	5.1.6~5.3.31	5.2.28 5.3.31 5.4.28 小計	3,730,810 3,950,270 3,072,432 10,753,512	新型コロナウイルス感染症対策のための 通学バス配車・児童生徒輸送(増便) 大型バス 4台 運行日数 49日	随契2号 (不適)
一般	2.8.1~5.7.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 5.4.28 小計	(21,266,656) 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 1,063,334 12,760,008	給食調理及び配膳業務 2年度 119回 3年度 182回 4年度 186回 5年度 69回	R2長期

□□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
7	高等部棟エレベーター保守点 検業務委託	日本オーチス・エレ ベータ(株)静岡支店	691,680	691,680	0	691,680
8	小中学部棟エレベーター保守 点検業務委託	東芝エレベータ(株)静岡 支店	740,520	740,520	0	740,520
9	一般廃棄物収集運搬処分業務 委託（厨房）	(株)袋井清掃	運搬料 1回 1,760円 可燃物処分料 1kg 16.3円 資源物処分料 1kg 14.3円	運搬料 1回 1,760円 可燃物処分料 1kg 16.3円 資源物処分料 1kg 14.3円	0	運搬料 1回 1,760円 可燃物処分料 1kg 16.3円 資源物処分料 1kg 14.3円
10	産業廃棄物収集・運搬及び処 分委託	サンワ環境整備(株)	93,500	93,500	0	93,500
11	グリストラップ清掃、産業廃 棄物収集運搬業務委託	(株)袋井清掃	14,465	14,465	0	14,465
12	産業廃棄物処分委託	(株)太洋サービス	7,975	7,975	0	7,975
13	産業廃棄物収集・運搬及び処 分委託	サンワ環境整備(株)	36,300	36,300	0	36,300
14	防火対象物定期点検業務委託	セルコ(株) 掛川営業所	193,600	193,600	0	193,600
15	産業廃棄物収集・運搬及び処 分委託	サンワ環境整備(株)	36,300	36,300	0	36,300
	合 計	15件				

関 する 調

(令和4年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	4.4.1～5.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 5.4.28 小計	51,700 51,700 51,700 51,700 51,700 51,700 51,700 51,700 51,700 51,700 51,700 122,980 691,680	昇降機保守点検 乗用、車椅子兼用1台 定員15人・積載1,000kg 定期点検 年1回 定期検査 月1回	随契2号 (不適)
随契	4.4.1～5.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 5.4.28 小計	58,080 58,080 58,080 58,080 101,640 58,080 58,080 58,080 58,080 58,080 58,080 58,080 740,520	昇降機保守点検 乗用、車椅子兼用1台 定員15人・積載1,000kg 定期点検 年1回 定期検査 月1回	随契2号 (不適)
随契	4.4.11～5.3.24	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 5.4.28 小計	26,598 36,756 44,326 32,044 37,029 37,012 37,512 32,579 31,304 34,058 21,383 370,601	厨房から搬出される一般廃棄物の収集運搬及び処分業務 可燃物：紙屑、生ごみ 資源物：ペットボトル、プラスチック製容器包装(ビニール類含む)、 瓶、缶 年間 147回程度	単価契約 随契2号 (不適)
随契	4.4.18～4.8.31	4.9.30	93,500	不燃物等産業廃棄物の収集運搬処分業務(本校) コンテナ(管理型混合廃棄物8㎡)1台	随契1号 (少額)
随契	4.7.28～4.9.30	4.9.13	14,465	厨房グリストラップの清掃及び汚泥290ℓ 収集運搬	随契1号 (少額)
随契	4.7.28～4.9.30	4.9.30	7,975	厨房グリストラップの汚泥290ℓ処分	随契1号 (少額)
随契	4.10.11～5.1.31	5.2.20	36,300	不燃物等産業廃棄物の収集運搬処分業務(本校) コンテナ(管理型混合廃棄物3㎡)1台	随契1号 (少額)
随契	4.12.26～5.3.22	5.2.24	193,600	消防法第8条の2の2による防火対象物 定期点検	随契1号 (少額)
随契	5.1.23～5.3.30	5.4.21	36,300	不燃物等産業廃棄物の収集運搬処分業務(本校) コンテナ(管理型混合廃棄物3㎡)1台	随契1号 (少額)
			93,547,103		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
参考 1	静岡県立袋井高等学校外4校防 鼠防虫業務委託	(株)帝装化成 掛川営業所		円 583,000	円 0	円 583,000
参考 2	静岡県立袋井高等学校外2校自 家用電気工作物保安管理業務委 託	(一財)中部電気保安協会 掛川営業所		752,400	0	752,400
参考 3	静岡県立袋井商業高等学校外3 校浄化槽保守点検業務委託	(株)フクエイ		2,618,000	0	2,618,000
参考 4	静岡県立袋井商業高等学校外2 校可燃物収集運搬処分業務委託	(株)袋井清掃		運搬料1回 6,600 処分料1kg 16.3	0	運搬料1回 6,600 処分料1kg 16.3
参考 5	静岡県立磐田西高等学校外6校 水泳プール浄化装置保守点検業 務委託	(有)山静商会		359,700	0	359,700
参考 6	静岡県立磐田農業高等学校外8 校消防用設備等保守点検業務委 託	静岡県消防設備保守点検 業協同組合		9,002,400	0	9,002,400
参考 7	静岡県立磐田南高等学校外8校警 備業務委託	総合警備保障(株)静岡支社		17,166,600	0	17,166,600
参考 8	静岡県立磐田南高等学校外5校 ガスヒートポンプ点検業務委託	ヤマザキ・シー・エー(株)		5,148,000	0	5,148,000
参考 9	静岡県立磐田西高等学校外4校 可燃物収集運搬処分業務委託	(株)ハシモト		運搬料1回 5,775 収納容器料 1,100	0	運搬料1回 5,775 収納容器料 1,100
参考 10	磐田袋井地区県立学校 建築基準法第12条に基づく定期 点検業務委託	(株)創亜開発		3,080,000	0	3,080,000
	計	10件				

関 する 調

(令和4年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	4.4.6~5.3.31			袋井高校ほか4校 ネズミ及びゴキブリ等防除業務	袋井高校
	4.4.1~5.3.31			袋井高校ほか2校 電気工作物に対する保安上の点検業務	袋井高校
	4.4.1~5.3.31			袋井商業高校ほか3校 浄化槽の保守点検業務	袋井商業高校
	4.4.19~5.3.31			袋井商業高校ほか2校 可燃物の収集運搬処分業務	袋井商業高校
	4.4.12~4.12.28			磐田西高校ほか6校 プール浄化装置設備点検業務	磐田西高校
	4.4.1~5.3.31			磐田農業高校ほか8校 消防設備の保守及び機器点検・総合点検業務	磐田農業高校
	1.10.1~6.9.30			磐田南高校ほか8校 警報機器による警備業務	磐田南高校
	4.6.21~4.12.23			磐田南高校ほか5校 ガスヒートポンプ点検業務	磐田南高校
	4.4.12~5.3.31			磐田西高校ほか4校 可燃物の収集運搬処分業務	磐田西高校
	4.9.7~5.1.31			磐田袋井地区県立学校9校 建築基準法第12条に基づく定期点検業務	磐田南高校

□□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
1	通学バス輸送業務委託	鯨バス(株)	円 158,176,140	円 109,629,537	円 0	円 109,629,537
2	スクールバス運行管理業務委託	武州総合サービス静岡 (株)静岡事業所	12,892,236	11,286,000	0	11,286,000
3	新型コロナウイルス感染症対策通学バス輸送業務委託	鯨バス(株)	16,240,752	16,240,752	0	16,240,752
4	給食業務委託	(株)ミカサ	49,519,360	38,280,000	0	38,280,000
5	高等部棟エレベーター保守点検業務委託	日本オーチス・エレベータ(株)静岡支店	691,680	691,680	0	691,680
6	小中学部棟エレベーター保守点検業務委託	東芝エレベータ(株)静岡支店	740,520	740,520	0	740,520
7	一般廃棄物収集運搬処分業務委託(厨房)	(株)袋井清掃	運搬料 1回 1,760円 可燃物処分料 1kg 16.3円 資源物処分料 1kg 14.3円	運搬料 1回 1,760円 可燃物処分料 1kg 16.3円 資源物処分料 1kg 14.3円	0	運搬料 1回 1,760円 可燃物処分料 1kg 16.3円 資源物処分料 1kg 14.3円
8	県立学校医療的ケア児就学支援事業 訪問看護業務委託	公益社団法人 静岡県看護協会	医療的ケア費用 5,500円/時間 訪問看護師交通費 550円/回	医療的ケア費用 5,500円/時間 訪問看護師交通費 550円/回	0	医療的ケア費用 5,500円/時間 訪問看護師交通費 550円/回
	合 計	8 件				

関 する 調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	3.4.1~6.3.31	5.5.31 5.6.30 小計	円 (76,472,921) 2,763,050 2,763,050 5,526,100	通学バス配車・児童生徒輸送 通常便 大型バス3台・中型1台 感染症対策による増便 大型4台 運行日数(通常)(増便) 3年度 203日 74日 4年度 203日 5年度 202日	R3長期
一般	3.4.1~6.3.31	5.5.31 5.6.30 小計	(7,524,000) 313,500 313,500 627,000	県有スクールバス運行・管理 大型バス 1台 運行日数 3年度 203日 4年度 203日 5年度 202日 管理日数 (休業明け整備3日、定期点検4日) 3年度 7日 4年度 7日 5年度 7日	R3長期
随契	5.4.1~5.7.31	5.5.31 5.6.30 小計	4,060,188 4,060,188 8,120,376	新型コロナウイルス感染症対策のための通学バス配車・児童生徒輸送(増便) 大型バス 4台 運行日数 74日	随契2号 (不適)
一般	2.8.1~5.7.31	5.5.31 5.6.30 小計	(34,026,664) 1,063,334 1,063,334 2,126,668	給食調理及び配膳業務 2年度 119回 3年度 182回 4年度 186回 5年度 69回	R2長期
随契	5.4.1~6.3.31	5.5.31 5.6.30 小計	51,700 51,700 103,400	昇降機保守点検 乗用、車椅子兼用1台 定員15人・積載1,000kg 定期点検 年1回 定期検査 月1回	随契2号 (不適)
随契	5.4.1~6.3.31	5.5.31 5.6.30 小計	58,080 58,080 116,160	昇降機保守点検 寝台車椅子兼用1台 定員15人・積載1,000kg 定期点検 年1回 定期検査 月1回	随契2号 (不適)
随契	5.4.7~6.3.25	5.5.31 5.6.30 小計	26,549 36,159 62,708	厨房から搬出される一般廃棄物の収集運搬及び処分業務 可燃物:紙屑、生ごみ 資源物:ペットボトル、プラスチック製容器包装(ビニール類含む)、 瓶、缶 年間 147回程度	単価契約 随契2号 (不適)
随契	5.6.5~6.3.25	 小計	 0	訪問看護師による医療的ケア児の在校時支援(医療的ケア、健康観察、安全確保) 医療的ケア時間 概算264時間 訪問看護師来校回数 概算53回	単価契約 随契2号 (不適)
			16,682,412		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変更 増減額	計
参考 1	静岡県立袋井高等学校外3校防 鼠防虫業務委託	(株)帝装化成 掛川営業所	/	円 530,200	円 0	円 530,200
参考 2	静岡県立袋井高等学校外2校自 家用電気工作物保安全管理業務委託	遠鉄アシスト(株)	/	942,480	0	942,480
参考 3	静岡県立袋井商業高等学校外3 校浄化槽保守点検業務委託	(株)フクエイ	/	2,770,680	0	2,770,680
参考 4	静岡県立袋井商業高等学校外2 校可燃物収集運搬処分業務委託	(有)小久江清掃	/	運搬料1回 3,850 処分料1kg 16.3	0	運搬料1回 3,850 処分料1kg 16.3
参考 5	静岡県立磐田西高等学校外6校 水泳プール浄化装置保守点検業 務委託	(有)山静商会	/	429,000	0	429,000
参考 6	静岡県立磐田農業高等学校外8 校消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検 業協同組合	/	8,850,600	0	8,850,600
参考 7	静岡県立磐田南高等学校外8校警 備業務委託	総合警備保障(株)静岡支社	/	17,166,600	0	17,166,600
参考 8	静岡県立磐田西高等学校外4校 可燃物収集運搬処分業務委託	(株)ハシモト	/	運搬料1回 5,830 収納容器料 1,100	0	運搬料1回 5,830 収納容器料 1,100
	計	8件				

関 する 調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	5. 4. 6～6. 3. 31			袋井高校ほか3校 ネズミ及びゴキブリ等防除業務	袋井高校
	5. 4. 1～6. 3. 31			袋井高校ほか2校 電気工作物に対する保安上の点検業務	袋井高校
	5. 4. 1～6. 3. 31			袋井商業高校ほか3校 浄化槽の保守点検業務	袋井商業高校
	5. 4. 7～6. 3. 29			袋井商業高校ほか2校 可燃物の収集運搬処分業務	袋井商業高校
	5. 4. 12～5. 11. 30			磐田西高校ほか6校 プール浄化装置設備点検業務	磐田西高校
	5. 4. 1～6. 3. 31			磐田農業高校ほか8校 消防設備の保守及び機器点検・総合点検業務	磐田農業高校
	1. 10. 1～6. 9. 30			磐田南高校ほか8校 警報機器による警備業務	磐田南高校
	5. 4. 11～6. 3. 29			磐田西高校ほか4校 可燃物の収集運搬処分業務	磐田西高校

□□□□□□

負担金支出調

(令和4年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	袋井地区安全運転管理協会会費	袋井地区安全運転管理協会会長	会則第24条	安全運転管理者の資質の向上及び交通安全の実現	円 24,000	4.4.18
2	袋井保安管理協会会費	袋井保安管理協会会長	規約第19条	事業所の保安管理の推進	2,400	4.6.17
3	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則第15条	特別支援教育並びに知的障害教育の振興	11,000	4.7.12
4	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	規約第9条及び附則5	特別支援学校知的障害教育の振興並びに会員の研修	5,000	4.7.13
5	甲種防火管理新規講習受講料	(一財)日本防火・防災協会理事長	通知による	施設防火管理者として必要な知識の習得	8,000	4.7.27
6	安全運転管理者講習手数料	静岡県安全運転管理協会	道路交通法第108条の2第1項第1号	安全運転管理に関する啓発及び広報、調査研究等	4,500	4.11.22
7	子どもの体験型防犯講座「あぶトレ！」負担金	静岡県くらし・環境部県民生活局くらし交通安全課長	開催通知	小学部5・6年生対象子どもの体験型防犯講座	10,000	5.3.24
計		7件			64,900	

□□□□□□

負担金支出調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	甲種防火管理新規講習受講料	(一財)日本防火・防災協会理事長	通知による	施設防火管理者として必要な知識の習得	円 8,000	5.6.14
2	袋井地区安全運転管理協会会費	袋井地区安全運転管理協会会長	会則第24条	安全運転管理者の資質の向上及び交通安全の実現	24,000	5.6.16
3	袋井保安管理協会会費	袋井保安管理協会会長	規約第19条	事業所の保安管理の推進	2,400	5.6.16
計		3件			34,400	

余 白

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当初設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教育管理費	令和4年度静岡県立袋井特別支援学校管理棟厨房空調設備更新工事	袋井市高尾地内	円 968,000	円 874,500	円 0	円 874,500
2	教育管理費	令和4年度静岡県立袋井特別支援学校小中学部棟エレベーター部品更新工事	袋井市高尾地内	2,145,000	2,145,000	0	2,145,000
3	教育管理費	令和4年度静岡県立袋井特別支援学校管理棟厨房修繕工事	袋井市高尾地内	13,068,000	12,980,000	0	12,980,000
	合 計		3 件	16,181,000	15,999,500	0	15,999,500
参考1	教育管理費	令和4年度〔第34-Z0721-01号〕袋井特別支援学校小中学部棟内壁修繕工事【11-02】	袋井市高尾地内	円 3,157,000	円 2,915,000	円 693,000	円 3,608,000
	合 計		1 件	3,157,000	2,915,000	693,000	3,608,000

事 調

(令和4年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	袋井設備(株)	R4. 8. 1 ～ R4. 9. 1	円 874, 500	天吊形エアコン 1セット (室外機1台: 3相200V) (室内機1台: 単相200V) 室外機用安全ネットパネル1枚	済	令達年月日 R4. 7. 25 支払年月日 R4. 9. 29 随契1号(少額)
随契	東芝エレベータ(株)静岡支店	R4. 10. 14 ～ R5. 3. 22	2, 145, 000	光電式戸閉め安全装置 1式 メイン制御等基板 1式 バッテリー等電源装置 1式 メインロープ 9本 かご室LED照明 4本 荷重検知装置調整 1式 上記他の部品交換	—	令達年月日 R4. 9. 30 支払年月日 R5. 4. 27 随契2号(不適)
一般	袋井設備(株)	R4. 10. 4 ～ R5. 3. 28	12, 980, 000	スチームコンベクションオープン1台及びステンレス製ガス回転釜2台更新 シンク下等土間ピット埋め 1式 ピット内塗装 2箇所 既存床材撤去 86㎡ 下地調整及び長尺シート張り96㎡ 他	—	令達年月日 R4. 7. 15 支払年月日 R5. 4. 27
			15, 999, 500			
指名	(株)ビルドマルメイ	R4. 12. 9 ～ R5. 3. 20	円 3, 608, 000	小中学部棟屋内スロープ(1階～3階)内壁モルタルの浮き、クラックの修繕工事 クラック部 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 浮き部 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	—	袋井土木事務所
			3, 608, 000			

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当初設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
参考1	教育管理費	令和5年度〔第35-Z2413-01号〕袋井特別支援学校空調設備設置工事	袋井市高尾地内	円 6,479,000	円 6,314,000	円 0	円 6,314,000
	合 計		1 件	6,479,000	6,314,000	0	6,314,000

事 調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
指名	袋井設備㈱	R5.6.22 ～ R5.10.5	円 0	管理棟応接室壁掛型空調設備1セット新設 管理棟小学部学習室天吊型空調設備2セット更新 上記に係る機械設備工事1式	-	設備課
			0			

□□□□□□

公 有 財 産 調

(本 校)

(令和4年度)

区 分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	
行政財産	/	千円 1,196,830	/	千円 838	/	千円 43,456	/	千円 1,154,212	
土 地	m ² 20,708.90	602,156	m ² 0	0	m ² 0	0	m ² 20,708.90	602,156	
立木竹	本 125	3,292	本 0	0	本 0	0	本 125	3,292	
建 物	m ² <u>5,219.56</u> 9,207.83	473,861	m ² 0	0	m ² 0	34,751	m ² <u>5,219.56</u> 9,207.83	439,110	
工作物	個 109	117,521	個 1	838	個 3	8,705	個 107	109,654	
公有財産に 準ずるもの	/	444	/	0	/	0	/	444	
電 話 加入権	件 6	444	件 0	0	件 0	0	件 6	444	

(令和5年度中増減なし)

(磐田見付分校)

(令和4年度)

区 分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	数量又 は面積	台帳 価 格	
行政財産	/	千円 129,846	/	千円 0	/	千円 6,145	/	千円 123,701	
立木竹	本 18	179	本 0	0	本 0	0	本 18	179	
建 物	m ² <u>927.86</u> 739.25	116,043	m ² 0	0	m ² 0	5,196	m ² <u>927.86</u> 739.25	110,847	
工作物	個 14	13,624	個 0	0	個 0	949	個 14	12,675	
公有財産に 準ずるもの	/	124	/	0	/	0	/	124	
電 話 加入権	件 2	124	件 0	0	件 0	0	件 2	124	

(令和5年度中増減なし)

借 地 借 家 等 調

(令和5年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は 面 積	借 料		契約期間	所 有 者 又 は 契約者氏名	用 途
				台 帳	現 況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	袋井市高尾1829-1地先	公衆用道路	雑種地	m ² 1.00	円 —	円 免除	5.4.1 ～ 10.3.31	袋井市長	学 校 案内板 設 置
2	土地	学校敷地	袋井市高尾1068-2番地先	公衆用道路	雑種地	m ² 1.00	円 —	円 免除	2.4.1 ～ 7.3.31	袋井市長	学 校 案内板 設 置
3	土地	学校敷地	袋井市浅羽3464番33	畑	畑	m ² 801.00	円 —	円 無償	5.4.1 ～ 6.3.31	個 人	学 校 園
4	土地	学校敷地	磐田市見付2031番地2	宅 地	学 校 敷 地	m ² 3,500.21	円 —	円 —	4.4.1 ～ 7.3.31	静岡県立磐田北高等学校長	校 舎 敷 地
5	土地	学校敷地	磐田市見付2031番地2	宅 地	学 校 敷 地	m ² 0.19	円 —	円 —	4.4.11 ～ 7.3.31	静岡県立磐田北高等学校長	校 内 案内板 設 置
	小計					m ² 4,303.4		0			
6	土地	水路敷地	袋井市高尾字谷ノ口1519-2地先(左岸)	水 路	雑種地	m 8.8	円 —	円 免除	H31.4.1 ～ 11.3.31	河川管理者 静岡県知事	排水管 7.96m ²
7	土地	水路敷地	袋井市高尾字谷ノ口2753-190地先	水 路	水 路	m ² 11.90	円 —	円 免除	5.4.1 ～ 8.3.31	袋井市長	通用門 進入路
8	土地	水路敷地	袋井市高尾2753-370番地先	水 路	水 路	m ² 15.86	円 —	円 免除	5.4.1 ～ 8.3.31	袋井市長	正 門 進入路
	小計					8.8m 27.76m ²		0			
9	建物	事務所建	袋井市高尾2753-1	鉄骨造2階建		m ² 240.19 456.98	月額 247,500	2,970,000	2.4.1 ～ 7.3.31	大和リース(株) 静岡支店	高等部 仮 設 校 舎
	小計					m ² 240.19 456.98		2,970,000			
10	工作物	囲障	磐田市見付2031番地2	ネットフェンス		m ² 0.12	円 —	円 —	4.4.1 ～ 7.3.31	静岡県立磐田北高等学校長	運動場等 案内板 設 置
	小計					m ² 0.12		0			
	計							2,970,000			

※ 契約期間年号に表記がないものは、令和とする。

□□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為

区分	事業名又は契約名	内容	契約額								
				17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
債務負担行為	仮設校舎賃貸借(教室棟)	高等部仮設校舎(456.98㎡)の賃貸(契約日)H17.5.2	88,755,000	29,967,000	3,402,000	3,402,000	3,402,000	3,402,000	3,150,000	3,150,000	3,150,000
長期継続契約	給食業務委託	給食調理及び配膳業務(契約日)R2.7.21	38,280,000								
	スクールバス運行管理業務委託	県有スクールバス1台の運行管理業務委託(契約日)R3.4.1	11,286,000								
	通学バス輸送業務委託	通学バス(R3の1学期8台、それ以降4台)の輸送業務委託(契約日)R3.4.1	109,629,537								
	電子複写機賃貸借	電子複写機の賃貸借(契約日)R3.4.1	5,606,348								

又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)
(令和5年6月30日現在)

(契約額の年度別内訳)												
25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
3,150,000	3,150,000	2,916,000	2,916,000	2,916,000	2,916,000	2,916,000	2,970,000	2,970,000	2,970,000	2,970,000	2,970,000	
							8,506,648	12,760,008	12,760,008	4,253,336		
								3,762,000	3,762,000	3,762,000		
								43,316,321	33,156,600	33,156,616		
								1,084,248	1,130,525	1,130,525	1,130,525	1,130,525

□□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	袋井市高尾 2753-1	学校敷地	学校敷地	m ² 15.90	-	円 免除	2.4.1 ～ 7.3.31	袋井市長	本校 防災倉庫
2	建物	事務所建	袋井市高尾 2753-1	RC造2F		m ² 0.18	-	免除	4.4.1 ～ 9.3.31	袋井市長	本校 地域防災 無線機
3	工作物	囲障	袋井市高尾 2753-1	金網フェンス H=1.5m		m ² 1.52	-	免除	3.12.13 ～ 8.3.31	袋井市長	本校 避難所 案内看板
合計								0			

備品・図書調

(令和4年度)

区分	令和4年 3月31日 現在	増		減		令和5年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	26	(0) 0	0	(0) 0	0	26
01-02 台類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-03 いす類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	74	(0) 0	0	(0) 0	0	74
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-07 書類整理器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-12 寝具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	41	(0) 5	506,000	(0) 5	0	41
01-14 冷暖房器具類	31	(0) 1	226,600	(0) 1	0	31
01-18 パーテーション	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
01-19 掲示板・黒板	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-99 その他の庁用器具類	19	(0) 1	0	(0) 0	0	20
02-01 情報処理機器類	329	(7) 10	524,700	(0) 2	0	337
02-02 情報伝達機器類	21	(0) 0	0	(0) 0	0	21
02-03 再生機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-01 撮影機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
04-01 診療・診断用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3

備品・図書調

(令和 4年度)

区分	令和 4年 3月31日 現在	増		減		令和 5年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-02 衛生検査用機器類	1	(0) 1	160,600	(0) 0	0	2
04-05 機能回復訓練機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
05-04 分析化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-02 金属加工用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
06-09 木工用機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-06 家庭科用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-07 音楽用器具類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
10-08 芸術用器具類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
10-09 演劇用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	10	(0) 2	0	(0) 0	0	12
10-99 その他の教育用器具類	22	(0) 0	0	(0) 0	0	22
12-01 雑機器	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	711	(7) 20	1,417,900	(0) 8	0	723

□□□□□□

備品・図書調

(令和 5年度)

(令和 5年 6月30日現在)

区分	令和 5年 3月31日 現在	増		減		令和 5年 6月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	26	(0) 0	0	(0) 0	0	26
01-02 台類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-03 いす類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	74	(0) 0	0	(0) 0	0	74
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-07 書類整理器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-12 寝具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	41	(0) 1	489,500	(0) 0	0	42
01-14 冷暖房器具類	31	(0) 0	0	(0) 0	0	31
01-18 パーティション	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
01-19 掲示板・黒板	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-99 その他の庁用器具類	20	(0) 0	0	(0) 0	0	20
02-01 情報処理機器類	337	(0) 0	0	(0) 0	0	337
02-02 情報伝達機器類	21	(0) 0	0	(0) 0	0	21
02-03 再生機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-01 撮影機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
04-01 診療・診断用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3

□□□□□□

備品・図書調

(令和 5年度)
(令和 5年 6月30日現在)

区分	令和 5年 3月31日 現在	増		減		令和 5年 6月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-05 機能回復訓練機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
05-04 分析化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-02 金属加工用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
06-09 木工用機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-06 家庭科用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-07 音楽用器具類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
10-08 芸術用器具類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
10-09 演劇用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
10-99 その他の教育用器具類	22	(0) 0	0	(0) 0	0	22
12-01 雑機器	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	723	(0) 1	489,500	(0) 0	0	724

□□□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和5年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入金額
	大・中	小				
1	01- 13	調理器具	スチームコンベクションオープン コメントカトリ CSWH-GW-201-1	給食調理用 年間170日	R5. 3	5,962,000 ^円
2	10- 99	その他の教育用器具	複合遊具 塔屋+網階段+滑り台+螺旋棒	小学部授業他 年間200日	R3. 6	4,257,000
3	5- 4	加熱(冷却)蒸発装置	真空冷却機 三浦工業 CMJ-20QE	給食調理用 年間170日	H30. 3	3,121,200
4	1-13	食品食器洗浄機	食器洗浄機 日本洗浄機 SDL-340GL	給食調理用 年間190日	R2. 3	2,398,000
5	6- 9	木工用機械	自動一面カンナ盤 マキタ LK501EB	作業学習授業用 週5h使用 年間70日	H26. 3	2,234,400
6	2- 2	放送装置	放送装置 ビデオ調整卓 松下 WL618AV	校内放送用 年間200日	H3. 12	1,751,000
7	10- 8	その他の芸術用器具	電気陶芸窯 MARUNI OEL-15-SOF3D	作業学習授業用 週5h使用 年間70日	H8. 3	1,545,000
8	2- 1	パーソナルコンピュ ータ(一式)	タブレットPC(ARROWS)10台、無線LANAP ソフトウェア、電子黒板他	授業用 年間200日	H29. 1	1,512,000
9	2- 1	パーソナルコンピュ ータ(一式)	ICT環境整備機器一式	授業用 年間200日	H30. 3	1,449,900
10	6- 9	木工用機械	手押しカンナ盤(集塵ホッパー付) マキタ LJ301EB	作業学習授業用 週5h使用 年間70日	H26. 3	1,428,000
11	3- 3	プロジェクター	プロジェクター 12台 マクセル MC-BW302J	授業用 年間200日	R3. 3	1,402,711
12	6- 9	木工用機械	横切り盤 石津製作所 ISC-1300	作業学習授業用 週5h使用 年間70日	H23. 11	1,181,250
13	10- 8	その他の芸術用器具	電気陶芸窯 MARUNI OEL-15S 200V-15kw	作業学習授業用 週5h使用 年間70日	H3. 1	1,178,320
14	10- 7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ G5E	音楽授業・行事用 週4h使用 年間70日	H3. 2	1,174,200
15	2- 1	その他の情報処理機 器	校内LANサーバー 1式	校内LAN用 常時使用(年間365日)	H13. 3	1,172,850
16	01-13	調理器具	ステンレス製ガス回転釜 服部工業 GHSL4-32HN-SS	給食調理用 年間180日	R5. 3	1,144,000
17	01-13	調理器具	ステンレス製ガス回転釜 服部工業 GHSL4-32HN-SS	給食調理用 年間180日	R5. 3	1,144,000
18	1-99	その他の庁用器具	校旗 綴織	各種行事用 年間10日	H2. 12	1,143,300
19	3- 1	その他の撮影機器	防犯カメラ カメラ4台、モニター1台、レコーダー1台 他	防犯用 常時使用(年間365日)	R1. 12	1,075,580
20	1- 4	下駄箱	下駄箱 3015×800×2200 10列6段	児童・生徒用 常時使用(年間365日)	H2. 8	1,044,420

□□□□□□

生産物受払調

(本校)

(令和5年6月30日現在)

品名(単位)		青果 (kg)				革工芸品 (個)				
		3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	
区分										
重さ(kg)、数量(個) (イ)										
受 高	前年度繰越高	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	109.90	62.05	32.00	△ 47.85	165	244	0	79	
	計	109.90	62.05	32.00	△ 47.85	165	244	0	79	
単位数量 (イ/ア)										
同前年比 (%) (b-a) / a × 100						△ 43.5				
払 高	売払数量	109.90	62.05	32.00	△ 47.85	165	244	0	79	
	売払金額	13,800	11,050	3,200	△ 2,750	35,300	64,000	0	28,700	
	非売品 数量	分類換	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
		管理換 その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
	計	109.90	62.05	32.00	△ 47.85	165	244	0	79	
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	
摘要										

品名(単位)		紙工芸品 (個)				手芸製品 (個)				
		3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	
区分										
重さ(kg)、数量(個) (イ)										
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	123	172	0	49	275	385	0	110	
	計	123	172	0	49	275	385	0	110	
単位数量 (イ/ア)										
同前年比 (%) (b-a) / a × 100						39.8				
払 高	売払数量	123	172	0	49	275	385	0	110	
	売払金額	38,700	64,500	0	25,800	113,800	143,450	0	29,650	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	123	172	0	49	275	385	0	110	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要										

□□□□□□

生産物受払調

(本校)

(令和5年6月30日現在)

品名(単位)		木工製品(個)				陶芸品(個)				
		3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	
区分										
重さ(kg)、数量(個) (ア)										
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	243	217	0	△ 26	307	513	0	206	
	計	243	217	0	△ 26	307	513	0	206	
単位数量 (イ/ア)										
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		△ 10.7				67.1				
払 高	売払数量	243	217	0	△ 26	307	513	0	206	
	売払金額	63,600	54,400	0	△ 9,200	74,650	133,800	0	59,150	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	243	217	0	△ 26	307	513	0	206	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要										

品名(単位)		計				
		3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	
区分						
重さ(kg)、数量(個) (ア)						
受 高	前年度繰越高					
	本年度生産高 (イ)					
	計					
単位数量 (イ/ア)						
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		△ 10.7				
払 高	売払数量					
	売払金額	339,850	471,200	3,200	131,350	
	非売品 数量	分類換				
		管理換 その他				
	計					
残高又は繰越数量						
摘要						

□□□□□□

生産物受払調

(磐田見付分校)

(令和5年6月30日現在)

品名(単位)		革工芸品(個)				木工製品(個)				
		3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	
数量(個) (ア)		/	/	/	/	/	/	/	/	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	190	174	0	△ 16	141	178	0	37	
	計	190	174	0	△ 16	141	178	0	37	
単位数量 (イ/ア)		/	/	/	/	/	/	/	/	
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		△ 8.4				26.2				
払 高	売払数量	190	174	0	△ 16	141	178	0	37	
	売払金額	93,200	76,150	0	△ 17,050	159,300	113,800	0	△ 45,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	190	174	0	△ 16	141	178	0	37	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要										

品名(単位)		縫製品(個)				計				
		3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年6月 30日現在	差 b-a	
数量(個) (ア)		/	/	/	/	/	/	/	/	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0					
	本年度生産高 (イ)	84	162	0	78					
	計	84	162	0	78					
単位数量 (イ/ア)		/	/	/	/					
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		92.9								
払 高	売払数量	84	162	0	78					
	売払金額	28,750	107,850	0	79,100	281,250	297,800	0	16,550	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0				
		管理換 その他	0	0	0	0				
	計	84	162	0	78					
残高又は繰越数量		0	0	0	0					
摘要										

事務事業及び予算の執行実績（別冊）

（令和4年度分「一部、令和5年度分を含む」）

静岡県立袋井特別支援学校

目 次

1	職 員 調 査 (□□□□□)	1
2	職 員 の 年 齢 調 査 (□□□□□□□)	9
3	健 康 管 理 (□□□□□□□)	10

□□□□□

職 員 調 (本校)

(令和 5年6月30日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	鈴 木 滋 夫	総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
2	副 校 長	服 部 匠 子	総括補助	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□ □□□ □□□□□□□□ □□□□□□
3	教 頭	太 田 欽 哉	総括補助	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
4	事 務 長	杉 山 智 彦	事務総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□ □□□□□□
5	教 諭	青 谷 麻 美	高1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□
6	教 諭	赤 堀 公 耶	中2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
7	教 諭	秋 澤 香 織	小1主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□
8	教 諭	秋 山 裕 里	小6	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□
9	教 諭	渥 美 三 四 朗	小2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□
10	教 諭	新 井 宏 美	高3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
11	教 諭	池 田 志 保	小 部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
12	教 諭	石 川 淳 也	高1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□
13	教 諭	石 川 侑 哉	高3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□
14	教 諭	石 津 公 稔	中1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
15	教 諭	和 泉 明 子	中 部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□
16	教 諭	勝 野 扶 実 子	中2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□
17	教 諭	伊 藤 光 恵	高肢主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□
18	教 諭	宇 佐 美 樹	小5	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□
19	教 諭	内 山 友 介	小5	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□
20	教 諭	浦 木 あゆみ	小3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□
21	教 諭	海 野 夏 子	/	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
22	教 諭	江 間 由 有 希		高2	□□□	□ 年 □ 月
23	教 諭	大 石 栞	中肢1・2・3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
24	教 諭	大 石 ひかる	/	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
25	教 諭	大 石 雅 之		中1	□□□	□ 年 □ 月
26	教 諭	太 田 明 莉	小4	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□
27	教 諭	大 庭 清 央	小肢4・5	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□
28	教 諭	大 場 遼 子	小6主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
29	教 諭	岡 本 智 恵 子	中1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□
30	教 諭	小 川 麗	中1	□□□	□ 年 □ 月	□□□
31	教 諭	長 田 聖 華	小肢1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□
32	教 諭	小 澤 万 智 子	中肢1・2・3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
33	教 諭	小 澤 亮 介	小6	□□□	□ 年 □ 月	□□□
34	教 諭	片 田 里 奈	中2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□

職 員 調 (本校)

(令和 5年6月30日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
35	教 諭	河 合 春 奈	小5主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
36	教 諭	河 崎 麻 依	小肢4・5	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
37	教 諭	川 村 清 子	小肢1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□
38	教 諭	川 村 知 夢	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
39	教 諭	菊 田 るり子	小2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□□□
40	教 諭	木 田 志 帆 子	高 部主事	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
41	教 諭	北 嶋 一 輝	中3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
42	教 諭	北 本 佳 代 子	高2主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□
43	教 諭	金 原 夏 希	小4	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
44	教 諭	久 野 陽 子	小4	□□□	□ 年 □ 月	□□□
45	教 諭	栗 田 真 生	中2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
46	教 諭	栗 田 恵	高教外	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
47	教 諭	栗 原 由 里 加	小6	□□□	□□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
48	教 諭	黒 田 礼 音	中1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
49	教 諭	小 久 保 鮎 美	/	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□
50	教 諭	小 林 英 里 香	小6	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
51	教 諭	小 林 ま ち	小肢3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
52	教 諭	小 原 巧 也	高3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
53	教 諭	佐 口 佳 奈 美	小6	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
54	教 諭	桜 井 理 恵	小3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
55	教 諭	佐 藤 慎 馬	小訪問	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
56	教 諭	佐 野 智 乃	小5	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□□□
57	教 諭	佐 野 佑 介	中2主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□□□
58	教 諭	佐 野 佳 美	/	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□
59	教 諭	塩 原 由 梨 奈	高3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□□
60	教 諭	塩 原 莉 那	中2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
61	教 諭	柴 田 奈 緒	高1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
62	教 諭	柴 田 夕 湖	中級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
63	教 諭	島 本 敦 子	中1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□
64	教 諭	清 水 穂 乃 加	小4	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
65	教 諭	陣 場 文 洋	高肢1・2・3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
66	教 諭	杉 村 多 美 子	高1主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
67	教 諭	杉 山 快 斗	高1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
68	教 諭	鈴 木 碧 海	小1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□

職 員 調 (本校)

(令和 5年6月30日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
69	教 諭	鈴 木 亜 弓	小3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□
70	教 諭	鈴 木 健 一	中2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
71	教 諭	鈴 木 聖 人	中肢主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□
72	教 諭	鈴 木 友 紀		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
73	教 諭	鈴 木 夢 花		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
74	教 諭	鈴 木 理 恵	中訪問	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□
75	教 諭	鈴 木 理 瑚		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
76	教 諭	砂 田 吏 絵		高3	□□□	□ 年 □ 月
77	教 諭	陶 山 恵	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□ □□□□ □□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□
78	教 諭	千 賀 瑞 季	小2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□
79	教 諭	高 橋 典 子	小肢主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
80	教 諭	高 橋 英 里	高1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
81	教 諭	高 林 步 未	小3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
82	教 諭	竹 村 一 郎	高3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
83	教 諭	玉 城 康 平	中3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
84	教 諭	角 替 泰 章	小肢3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□ □□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□
85	教 諭	寺 田 侑 二 郎	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
86	教 諭	寺 田 遼 子		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
87	教 諭	土 井 み は る		小3	□□□	□ 年 □ 月
88	教 諭	富 岡 由 美	高3	□□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□□□
89	教 諭	富 田 灯 理	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
90	教 諭	富 原 千 穂	小3	□□□	□ 年 □ 月	□□□
91	教 諭	友 田 健 豊	小2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□□□
92	教 諭	中 嶋 宏 昌	中1主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
93	教 諭	中 村 信 之	小3主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
94	教 諭	中 村 友 利 恵	高3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
95	教 諭	西 愛 美	小1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□
96	教 諭	西 村 真 喜 子	小5	□□□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□ □□□□
97	教 諭	野 口 寛 之	小4	□□□	□ 年 □ 月	□□□
98	教 諭	野 田 咲 良	中3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
99	教 諭	袴 田 彩 花		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
100	教 諭	萩 田 悠 華 子		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
101	教 諭	林 光 信	小6	□□□	□ 年 □ 月	□□□

□□□□□

職 員 調 (本校)

(令和 5年6月30日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
102	教 諭	廣 岡 美 和		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
103	教 諭	藤 城 ゆかり	高3主任	□□□	□□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
104	教 諭	藤 田 了太	中3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□
105	教 諭	古 田 遥 菜		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
106	教 諭	古 谷 瑠 音	小4	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
107	教 諭	祝 一 真	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
108	教 諭	細 田 まゆみ	小級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
109	教 諭	堀 池 宜 史	高級外	□□□	□□ 年 □ 月	□□□ □□□
110	教 諭	堀 内 彰 人	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
111	教 諭	堀 内 光 太 郎	中2主任	□□□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
112	教 諭	正 木 淳	高1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
113	教 諭	増 田 香 織	小肢2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
114	教 諭	増 田 大 翔	中1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
115	教 諭	松 下 千 香	小3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□□□□□
116	教 諭	松 永 充 孝	中肢1・2・3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□
117	教 諭	松 本 祥 一	小4主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□
118	教 諭	松 山 恵 梨	高肢1・2・3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
119	教 諭	溝 畑 竜 之 介		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
120	教 諭	森 く る み	中肢1・2・3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
121	教 諭	森 高 通	中2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
122	教 諭	八 木 咲 乃	小1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□□
123	教 諭	矢 島 二 郎	小肢6	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□□□□□□□
124	教 諭	山 田 茉 利 江	小肢3	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
125	教 諭	山 田 祥 健	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□
126	教 諭	山 梨 雄 大	小肢4・5	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□□□
127	教 諭	山 本 和 幸	中1	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
128	教 諭	吉 野 遥 子	高2	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□
129	教 諭	良 知 優 香		□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
130	教 諭	渡 邊 暁 子	小2主任	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
131	教 諭	渡 部 孝 子	高級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□ □□□
132	教 諭	渡 部 里 夢	高3	□□□	□ 年 □ 月	□□□
133	教 諭	藁 科 友 佳	小級外	□□□	□ 年 □ 月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□
134	養 護 教 諭	熊 切 展 子	養 護	□□□	□ 年 □ 月	□□□□
135	養 護 教 諭	村 松 涼		□□□	□ 年 □ 月	□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□

□□□□□

職 員 調 (本校)

(令和 5年6月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
136	栄養教諭	櫻井綾乃		□□□	□年□月	□□□□□□ □□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□
137	主 査	竹内真理	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□
138	主 査	深澤昌代	管財・会計	□□□	□年□月	□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□
139	主 査	吉澤悦子	会計	□□□	□年□月	□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□
140	技能長	鈴木俊夫	用務	□□□	□年□月	
平均年数					□年□月	

付 記

整理番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	大石 雅人	高1	□□□	□年□月	□□□ □□□
2	教諭(任)	尾 込 萌	小2	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□ □□□□
3	教諭(任)	織 田 理 恵	小5	□□□	□年□月	□□□ □□□□
4	教諭(任)	小野 由 姫	小3	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□
5	教諭(任)	佐藤 久美子	高3	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□□□□□
6	教諭(任)	柴 田 彩 佳	高1	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□□□□□□
7	教諭(任)	鈴木 綾 子	小6	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□
8	教諭(任)	鈴木 梨 那	小1	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□
9	教諭(任)	牧 野 智 子	小肢2	□□□□□	□□年□月	□□□ □□□ □□□□□□□□
10	教諭(任)	山口 直 樹	高1	□□□	□年□月	□□□ □□□
11	教諭(臨)	石 井 裕 美	小3	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□
12	教諭(臨)	板 倉 みどり	小2	□□□	□年□月	□□□ □□□□□□□□ □□□□
13	教諭(臨)	伊 藤 夏 菜	高肢1・2・3	□□□	□年□月	□□□ □□□
14	教諭(臨)	太 田 寛 人	高2	□□□	□年□月	□□□ □□□
15	教諭(臨)	大 塚 万 菜	小3	□□□	□年□月	□□□ □□□□□□□□□□
16	教諭(臨)	大 場 亜 紀 子	小4	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□
17	教諭(臨)	久 保 京 子	小肢4・5	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
18	教諭(臨)	小 林 颯 太 郎	高3	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□
19	教諭(臨)	小 山 優	高3	□□□	□年□月	□□□ □□□
20	教諭(臨)	齊 藤 隼 右	小1	□□□	□年□月	□□□ □□□□□□□□□□
21	教諭(臨)	杉 本 隆 樹	高3	□□□	□年□月	□□□ □□□
22	教諭(臨)	高 杉 直 樹	高1	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□□□□□□
23	教諭(臨)	高 橋 奈 央 人	高肢1・2・3	□□□	□年□月	□□□ □□□
24	教諭(臨)	名 倉 あゆみ	小3	□□□	□年□月	□□□ □□□
25	教諭(臨)	本 間 恭 子	中肢1・2・3	□□□	□年□月	□□□ □□□
26	教諭(臨)	松 田 展 子	小5	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□
27	教諭(臨)	村 松 泉	高2	□□□□□	□年□月	□□□
28	教諭(臨)	村 松 奈 奈	中3	□□□	□年□月	□□□ □□□
29	教諭(臨)	八 木 裕 二	中1	□□□	□年□月	□□□ □□□
30	養護教諭(任)	大 川 美 穂	養護	□□□	□年□月	□□□□
31	栄養士(臨)	白 岩 花 江		□□□	□年□月	□□□□□
32	医療的ケア 看護職員	稲 垣 友 美		□□□	□年□月	□□□
33	医療的ケア 看護職員	大 地 直 美		□□□	□年□月	□□□
34	医療的ケア 看護職員	山 本 瑞 歩		□□□	□□年□月	□□□
35	医療的ケア 看護職員	平 沙 誉 子		□□□	□年□月	□□□
36	非常勤講師	柳 麻 美	実技軽減	□□□	□年□月	□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□

付 記

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
37	非常勤講師	曾 根 香 奈	実技軽減	□□□	□年□月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
38	非常勤講師	土 井 あ ず さ	社会人活用 クラフト工芸	□□□	□年□月	
39	非常勤講師	永 田 政 司	社会人活用 革工芸	□□□	□年□月	
40	就労促進専門員	萬 谷 英 子		□□□	□年□月	
41	非常勤嘱託員	村 松 宏 悦	事務	□□□	□年□月	
42	非常勤嘱託員	金 子 幸 代	事務	□□□	□年□月	
43	非常勤労務職員	古 宮 い づ み	用務	□□□	□年□月	
44	非常勤労務職員	勝 亦 恵 子	校内介助	□□□	□年□月	
45	非常勤労務職員	亀 田 美 智 子	スクールバス介助	□□□	□□年□月	
46	非常勤労務職員	宮 澤 淳 子	スクールバス介助	□□□	□□年□月	
47	非常勤労務職員	小 森 啓 代	スクールバス介助	□□□	□年□月	
48	非常勤労務職員	桐 山 洋 美	スクールバス介助	□□□	□年□月	
49	非常勤労務職員	中 村 弘	スクールバス介助	□□□□□	□年□月	
50	非常勤労務職員	大 村 光 男	スクールバス介助	□□□	□年□月	
51	非常勤労務職員	中 澤 弘	スクールバス介助	□□□	□年□月	
52	非常勤労務職員	松 本 令 子	スクールバス介助	□□□	□年□月	
53	非常勤労務職員	吉 川 あ つ 子	スクールバス介助	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□
54	非常勤労務職員	川 上 恵 美	新型コロナ ウィルス対策	□□□	□年□月	
55	非常勤労務職員	小 林 楓 真	新型コロナ ウィルス対策	□□□	□年□月	
56	学 校 医 健康管理医	諸 井 進 一 郎	内科	□□□	□□年□月	
57	学 校 医	新 木 五 月	耳鼻科	□□□	□□年□月	
58	学 校 医	栗 田 邦 雄	眼科	□□□	□□年□月	
59	学校歯科医	宮 本 錦 明		□□□	□□年□月	
60	学校薬剤師	木 野 明 子		□□□	□□年□月	

職 員 調 (磐田見付分校)

(令和 5年6月30日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教 頭	堀 川 朋 子	総括補助	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□
2	教 諭	青 木 瞳	高2	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
3	教 諭	大 類 亜 美 里	高2主任	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□
4	教 諭	岡 本 和 之	高1	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□
5	教 諭	勝 又 賢 一	高1主任	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□
6	教 諭	北 野 谷 冬 馬	高3主任	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□□
7	教 諭	桐 島 由 晴	高 部 主 事	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□□
8	教 諭	生 子 菜 々 子	高3	□□□	□年 □月	□□□ □□□
9	教 諭	鷺 見 美 佐	高3	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□□ □□□□
10	教 諭	谷 本 康 代	高1	□□□	□年 □月	□□□ □□□
11	教 諭	成 澤 美 咲	高3	□□□	□年 □月	□□□ □□□
12	教 諭	長 谷 川 崇	高級外	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□□
13	教 諭	花 田 直 人	高2	□□□	□年 □月	□□□ □□□
14	教 諭	古 木 将 裕		□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
15	教 諭	松 井 祐 子		□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
16	教 諭	山 口 麻 野 子	高1	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□□□□□□□□□
17	養 護 教 諭	新 井 澄 香	養護	□□□	□年 □月	□□□□□□
18	主 任	鈴 木 美 霞	庶務・会計	□□□	□年 □月	□□□□□□□□□ □□□□□□□□□ □□□□□□
平均年数					□年 □月	

付 記

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	工 藤 晴 美	高1	□□□	□年 □月	□□□ □□□
2	教諭(任)	本 間 将 恭	高2	□□□	□年 □月	□□□ □□□ □□□ □□□□□□□□□□
3	非常勤講師	永 田 政 司	社会人活用 革工芸	□□□	□年 □月	
4	非常勤 労務職員	上 村 香	用務	□□□	□年 □月	
5	学校医 健康管理医	牧 野 章	内科	□□□	□□年 □月	
6	学 校 医	梅 原 潤 一	耳鼻科	□□□	□□年 □月	
7	学 校 医	吉 田 泰 弘	眼科	□□□	□□年 □月	
8	学 校 医	武 井 陽 一	精神科	□□□	□□年 □月	
9	学校歯科医	前 島 健 吾		□□□	□年 □月	
10	学校薬剤師	袖 岡 利 市		□□□	□□年 □月	

□□□□□□□□

職員の年齢調

(令和5年6月30日現在)

年 齢	人 員			摘 要
	本 校	磐田見付 分 校	合 計	
20歳未満	0人	0人	0人	
20歳以上30歳未満	32	3	35	
30歳以上40歳未満	53	5	58	
40歳以上50歳未満	33	7	40	
50歳以上56歳未満	11	2	13	
56歳以上61歳未満	8	1	9	再任用 本校1人
61歳以上	3	0	3	再任用 本校3人
計	140	18	158	平均年齢 本校 37.9歳 分校 39.9歳 全体 38.1歳

健康管理

1 令和4年度受診状況

区分	内容		
		本校	磐田見付分校
受診状況	受診者数	129人	16人
	職員数	139人	17人
受診率	100%		
県平均受診率	100%		

(1) 未受診の理由

本校
 9人
 1人

分校
 1人

2 令和5年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分		人数 (人)		
		本校	磐田見付分校	合計
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	0	0	0
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	0	0	0
B 2		0	0	0
C 1	勤務をほぼ平常に行っており、症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	0	0	0
C 2		0	0	0
D 1	平常の勤務でよい。	(25) 25	0	(25) 5
D 2		(50) 50	(7) 7	(57) 57
D 3		(50) 50	(8) 8	(58) 58
区分者計		(125) 125	(15) 15	(140) 140
未区分者数		(15) 15	(3) 3	(18) 18
合計		(140) 140	(18) 18	(158) 158

(1) 管理区分A～C 2該当者に対する措置状況
 時間外勤務等をさせないように配慮するとともに、主治医より指示された通院治療を継続させた。

(2) 未区分の理由

ア
 本校 8人
 分校 1人
 イ
 本校 6人
 分校 2人
 ウ
 0人
 エ
 (□□) 1人